ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 775

クールピクス775

使用説明書

COOLPIX775のマニュアルについて

COOLPIX775には次の説明書が付属しています。製品をご使用の前によくお読みください。

クイックスタートガイド

クイックスタートガイドは、COOLPIX775で撮影して、再生するところから、撮影した画像をパソコンに転送するところまでの基本操作をステップごとに簡単に紹介しています。

使用説明書

使用説明書は、COOLPIX775の操作方法について詳しく説明しています。

Nikon View 4 リファレンスマニュアル（CD-ROM）

Nikon View 4リファレンスマニュアルは、COOLPIX775に付属しているCD-ROM内に収録されています。Nikon View 4リファレンスマニュアルの読み方については、この使用説明書の「機能の詳細－接続」の章をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに
修理依頼を

落下などによって破損し､内部が露出したときは､露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池､電源を抜いて､販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

すぐに
修理依頼を

熱くなる､煙が出る､こげ臭いなどの異常時は､速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

⚠ 警告（カメラについて）

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源スイッチを OFF にするか、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグを抜く

ACアダプタで使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

ニコンCOOLPIX775・880・995専用の充電式電池です、この機器以外には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源スイッチをOFFにして電池を入れ直し、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、 Adobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびレンズカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

●風通しのよい場所に保管してください

カビや故障などを防止するために、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、極度に高温となる夏期の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

●長期間使用しないときは、バッテリーを取り出してください

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- 使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。
- カメラの液晶モニタに「電池残量がありません」と表示されたリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源をオン、オフを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。「電池残量がありません」と表示されたリチャージャブルバッテリーは、充電してご使用ください。

●撮影後には液晶モニタをオフにしてバッテリーの消耗を防ぐ

撮影する場合に、液晶モニタをオフにしてファインダーのみで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーには一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（コンバータレンズ、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

目次

ご使用になる前に

この章は次の３部で構成されています。

はじめに

この使用説明書の構成と、使用している記号について記載しています。

各部の名称と機能

カメラ各部の名称と機能について記載しています。

メニューガイド

液晶モニタに表示されるメニューでカメラの設定内容を変更することができます。ここでは、撮影前や撮影および再生時のメニュー画面の説明について記載しています。

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX775をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX775で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は、操作をしながら自然にCOOLPIX775の使い方をご理解いただくことを目的として、基本操作から応用操作へと順を追って下記のように構成されています。

「ご使用になる前に」では、この使用説明書で使用している記号、カメラ各部の名称と機能、メニューガイドなどを説明しています。

「基本操作」では、COOLPIX775の基本的な撮影方法を紹介しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、ここを順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

「撮影画像の楽しみ方」では、電子メールで画像を送ったり、画像をプリントしたり、パソコンに画像を取り込んだりするなど、撮影した画像の簡単な楽しみ方を紹介しています。

「機能の詳細」では、撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶ7つのシーンモード撮影のほかに、スピードライト撮影、接写、動画撮影など、COOLPIX775による様々な撮影方法や再生方法を紹介しています。また、撮影の際に連写、露出補正などの撮影条件を設定する「撮影メニュー」やカメラの状態を設定する「SET-UPメニュー」、再生時に設定する「再生メニュー」、カメラとパソコンを接続して画像を転送する接続方法などについて紹介しています。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

✔ カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。	カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

カスタマーサポート

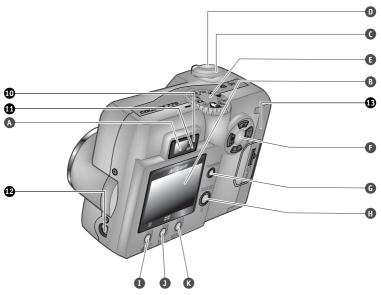
下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

各部の名称と機能

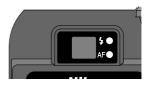
カメラ本体の名称や機能について紹介します。詳しい説明は各部の名称の右側に記載しているページをご参照ください。

カメラ本体

1	赤目軽減ランプ / セルフタイマー表示ランプ	P.83 P.89
2	スピードライト	P.82
3	ストラップ取り付け部	P.32
4	DC 入力端子カバー	P.35
5	ファインダー	P.50
6	レンズ（レンズカバー）	P.152
7	三脚ネジ穴	P.82
8	バッテリーカバー開閉ノブ	P.33
9	バッテリーカバー	P.33

10	赤色 LED	P.6
11	緑色 LED	P.6
12	デジタル端子	P.139
	ビデオ出力端子	P.135
13	コンパクトフラッシュカードカバー	P.36

A	ファインダー	P.6
B	液晶モニタ	P.7
C	電源スイッチ	P.8
D	シャッターボタン	P.8
E	モードダイヤル	P.9
F	マルチセレクター／ズームボタン	P.10
G	TRANSFER（転送）ボタン	P.12
H	QUICK ▶（クイックレビュー）／（拡大・縮小）ボタン	P.12
I	（フォーカスモード）／（削除）ボタン	P.12
J	（スピードライトモード）／（サムネイル）ボタン	P.13
K	MENU（メニュー）ボタン	P.13

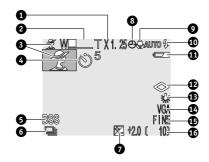
表示と操作ボタン

A ファインダー

COOLPIX775はファインダーを使用する撮影と、液晶モニタを使用する撮影ができます。撮影の状況に応じて使い分けてください。被写体の距離が近い場合は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じます。特に、カメラと被写体の距離が1m以内で撮影する場合は、液晶モニタで構図を確認して撮影してください。

また、ファインダーの横（右図）には2つのランプ（上が「赤色LED」、下が「緑色LED」）があります。

赤色LEDと緑色LEDのランプの状態は、次の通りです。

ランプの状態		意味
赤色LED	点灯	スピードライトの充電が完了です。いつでもスピードライト撮影ができます。
	点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	消灯	被写体が明るいため、スピードライトは発光しません。
緑色LED	点灯	被写体にピントが合っています。
	高速点滅	被写体にピントを合わせることができません。フォーカスロック撮影を行ってください（P.53）。
	中速点滅	撮影した画像をコンパクトフラッシュカードに記録しています。コンパクトフラッシュカードを抜いたり、カメラの電源を切ったりしないでください（P.54）。
	低速点滅	電子ズーム（P.80）が作動しています。液晶モニタで構図を確認してください。

B 液晶モニタ

液晶モニタには、画像やカメラの設定内容の情報が表示されます。

レビュー再生モードや再生モードにセットした場合は、撮影した画像を液晶モニタで確認できます。

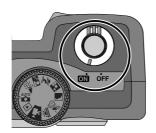
撮影モード時に液晶モニタに表示されるカメラの設定状態は次の通りです。

1	電子ズーム倍率表示	P.80
2	ズーム表示	P.80
3	シーンモード表示	P.78
4	セルフタイマー／カウントダウン表示	P.86
5	BSS 表示	P.100
6	連写モード表示	P.98
7	露出補正マーク／露出補正表示	P.102
8	時計マーク *	P.42
9	フォーカスモード表示	P.82
10	スピードライトモード表示	P.88
11	バッテリーチェック表示	P.40
12	輪郭強調表示	P.104
13	ホワイトバランス表示	P.96
14	画像サイズ表示	P.94
15	画質モード表示	P.93
16	カウンタ（撮影可能コマ数）／動画時間表示	P.47

* 時計マークは日時が設定されていない場合に点滅表示します。

参照ページ

P.50 構図を決めます
P.57 レビュー再生モード
P.58 簡易再生モード

C 電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にセットすると、カメラの電源が入ります。

電源がオンになると、ファインダーの横の緑色LEDが数秒間点灯してレンズカバーが開き、レンズが繰り出します。

電源スイッチを「OFF」にセットすると、レンズが収納されてレンズカバーが閉じ、カメラの電源がオフになります。

D シャッターボタン

半押しすると、ピントを固定します

深く押し込むと、シャッターがきれます

シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、緑色LED（P.53）が点灯します。半押し中は、ピントと露出が固定されます。

半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

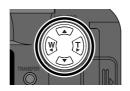
E モードダイヤル

モードダイヤルには、9種類の撮影モードと再生モードがあります。

モードを切り換える場合は、モードダイヤルを回して選択したいモードのアイコン（絵表示）を左側の ━ マークに合わせます。シーンモードを選択している場合は、液晶モニタ画面の左上に、選択されたシーンモードのアイコンが表示されます。

動画モードを選択している場合は、液晶モニタ画面の左下に のアイコンが表示されます。

アイコン	モード	内容	参照
AUTO	AUTOモード	いちばん手軽に撮影できる、カメラまかせのモードです。	P.46～55
	シーンモード	7種類のモードの中から撮影シーンや被写体に合わせて選択すれば、イメージに合った撮影が簡単にできます。	P.78～79
	動画モード	最大15秒の音声なし動画を撮影できます。	P.79
	再生モード	撮影した画像の再生や画像の削除などができます。	P.116～135

F マルチセレクター

マルチセレクターは、▲ボタン、▼ボタン、W◀ボタン、T▶ボタンの４つのボタンで構成されます。それぞれのボタンには、次のような機能があります。

ボタン	モード	内容	👁
▲	撮影画面	1回押すと、液晶モニタの撮影画面だけを表示します。もう1回押すと液晶モニタの撮影画面が消灯します。さらにもう１回押すと再び液晶モニタに撮影画面とカメラの設定内容が表示されます。	P.51
	再生 / レビュー再生 / 簡易再生画面	液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像が表示されます。	P.57～58 P.118
	メニュー画面	1つ上のメニュー項目を選択して、赤く表示します。	P.16
W◀	撮影 / レビュー再生画面	広角側にズーミングします。液晶モニタには広い範囲が映し出されます。	P.80
	再生 / 簡易再生画面	液晶モニタに画像情報を表示、または非表示にするかどうか選択します。	P.120
	メニュー画面	１つ前のメニューに戻ります。	P.16

ボタン	モード	内容	👁
T▶	撮影 / レビュー再生画面	望遠側にズーミングします。液晶モニタには遠くの被写体が大きく映し出されます。	P.80
	再生画面	表示されている画像が動画の場合は、動画の再生を開始します。動画の再生中に１回押すと一時停止となり、２回押すと再び再生が始まります。	P.121
	メニュー画面	表示されているメニュー項目に次の画面があれば次へ進みます。次のメニュー画面がなければ、赤く表示されたメニュー項目を選択して元のメニュー画面に戻ります。	P.16
▼	再生 / レビュー再生 / 簡易再生画面	液晶モニタに表示されている画像の次に撮影した画像が表示されます。	P.57～58 P.118
	メニュー画面	１つ下のメニュー項目を選択して、赤く表示します。	P.16

G TRANSFER（転送）ボタン

TRANSFERボタンは、COOLPIX775で撮影した画像をパソコンに転送するとき（P.139）や、画像の再生時に、あらかじめその画像をパソコンに転送するように設定する、または転送しないように設定するとき（P.68）に使用します。

TRANSFER ボタンを使用して撮影した画像をパソコンに転送する場合は、転送するパソコンにNikon View 4をインストールする必要があります。

H QUICK （クイックレビュー）/ （拡大）ボタン

撮影時にQUICK ボタンを押すと、最後に撮影した画像が、液晶モニタの左上に縮小表示されます。

モードダイヤルを やシーンモードにセットしたまま、撮影した画像をすぐに液晶モニタで確認できます（P.56）。

モードダイヤルを（再生モード）にセットしたときにQUICKボタンを押すと、液晶モニタに表示された画像が拡大されます（P.122）。

I （フォーカスモード）ボタン / （削除）ボタン

撮影時に ボタンを押すと、3 種類のフォーカスモードとセルフタイマーが選択できます（P.82）。

「再生モード」（P.118）時に ボタンを押すと、画像を 1 つずつ削除できます（ボタン：P.126）。

J ⚡👁（スピードライトモード）/ ▦（サムネイル）ボタン

撮影時に ⚡👁 ボタンを押すと、5 種類のスピードライト（フラッシュ）モードが選択できます （P.88)。

モードダイヤルを▶(再生モード）にセットしたときに ⚡👁 ボタンを押すと、撮影した画像を9枚または4枚ごとに、縮小して一覧表示できます。これを「サムネイル表示（縮小表示)」といいます（▦ボタン：P.123)。

K MENU ボタン

MENU ボタンを押すと、撮影条件やカメラの設定内容などを変更するためのメニュー項目が表示されます。

液晶モニタの画面（メニュー画面）を見ながら、マルチセレクターの４つのボタンを操作して、設定を変更します（P.15)。

メニュー画面を表示しているときにMENUボタンを押すと、次のメニュー画面に切り換わるか、メニュー画面が終了します（P.15)。

メニューガイド

液晶モニタに表示されるメニューでカメラの設定内容を変更できます。

(AUTO)、シーン、再生モード時に、メニューを表示してカメラの設定を変更できます（動画 モード時 を除く）。

メニュー	モード	内容	
AUTO 撮影モードメニュー	AUTO	(AUTO) モード時にセットできます。画質モード、画像サイズ、ホワイトバランス、連写などの撮影条件を設定するときに使用します。	P.18～19 P.90～105
シーン撮影モードメニュー		シーンモード時では、画質モードと画像サイズのみ変更することができます。	P.20～21 P.92～95
SET-UP メニュー	AUTO	AUTOおよびシーンモード時にセットできます。コンパクトフラッシュカードのフォーマットや日時設定など、撮影前の基本的な設定や、液晶モニタの設定などカメラの各種状態を設定します。	P.17 P.22～25 P.106～115
再生メニュー	▶	再生モード時にセットできます。撮影した画像を削除したり、プリントする画像やパソコンに転送する画像の選択、スライドショーなどの設定を行います。	P.26～27 P.124～134

メニューを見る

電源スイッチを「ON」にセットしてMENUボタンを押すと、モードダイヤルでセットしたモードで設定できるメニューが表示されます。

選択されているメニュー項目は赤く表示されます。マルチセレクターの▲または▼ボタンを押して、赤い表示を上下に動かし、設定するメニュー項目を選択します。

メニュー画面の左下に「MENU PAGE 2」と表示がある場合は、次ページ（2ページ目）のメニュー項目があることを意味しています。

マルチセレクターの▲または▼ボタンを押し続けると画面が切り換わってメニューの2ページ目が表示されます。このとき、メニュー画面の左下には「MENU OFF」と表示されます。

メニュー画面の左下に「MENU OFF」と表示がある場合は、MENUボタンを押すと、メニュー画面が終了し、AUTOモードやシーンモード、再生モードに戻ります。

MENUボタンを押します

メニュー画面が表示されます

メニューを選択する

モードダイヤルで「AUTO(AUTO）モード」または7種類の「シーンモード」のいずれかを選択しているときにMENUボタンを押すと、**AUTO撮影モード**メニュー画面または**シーン撮影モード**メニュー画面が表示されます。

マルチセレクターの▲または▼で、赤い表示を動かして、セットしたいメニュー項目を選択します。

T を押します。選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

▲または▼でセットしたいメニューを選択して、決定します。

MENUボタンを押します。撮影画面に戻ります。

- セットしたいメニューを選択した時点で、その機能がセットされ、カメラの設定は変更されます。
- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの W ボタンを押します。
- AUTO撮影モード、シーン撮影モードのメニュー画面表示時に、シャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、いつでも撮影できます。ただし撮影後はメニュー画面に戻ります。

SET-UP メニュー画面に入る

SET-UP メニュー画面に入るには、モードダイヤルで「AUTO（AUTO）モード」または7種類の「シーンモード」のいずれかを選択しているときに、次の手順でボタンを操作します。

1

MENUボタンを押します。メニュー画面が表示されます。

2

マルチセレクターの W ボタンを押します。メニュー画面左側の「1」のタブが赤く表示されます。

3

▼を押して、「S」のタブを選択します。「S」のタブが赤く表示されます。

4

T を押します。SET-UPメニュー画面が青く表示されて、項目を選択できるようになります。

- AUTO 撮影モードやシーン撮影モードのメニュー画面に戻るには、W を押して「S」のタブを赤く表示させせます。▲を押すと、タブ「S」が青く、タブ「1」が赤く表示されます。さらに T を押すと、AUTO 撮影モードやシーン撮影モードのメニュー画面に戻ります。
- メニュー画面を終了するには、画面の左下に「MENU OFF」と表示されている場合はMENU ボタンを 1 回押し、「MENU PAGE2」と表示されている場合は MENU ボタンを 2 回押すと、メニューが終了します。

メニューの一覧

AUTO 撮影モード

モードダイヤルを AUTO にセットしてMENUボタンを押すと、**AUTO撮影モード**のメニュー画面が表示されます。

AUTO 撮影モード画面には７つのメニュー項目があります。

画質モード

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときの圧縮の比率を、FINE、NORMAL、BASICの中から選択します。

P.92

画像サイズ

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときのサイズをFULL、XGA、VGAの中から選択します。

P.94

ホワイトバランス

撮影状況に合わせて、ホワイトバランスを調整します。

P.96

連写

撮影方法を単写、連写、マルチ連写の中から選択します。

P.98

BSS

BSS（ベストショットセレクション：手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

P.100

露出補正

明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。

P.102

輪郭強調

撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。

P.104

シーン撮影モード

モードダイヤルを 、、、、、、 のいずれかのモードにセットしてMENUボタンを押すと、**シーン撮影モード**のメニュー画面が表示されます。

シーン撮影モード画面には、画質モードと画像サイズの2つのメニュー項目があります。

画質モード

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときの圧縮の比率を、FINE、NORMAL、BASICの中から選択します。

P.92

画像サイズ

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときのサイズをFULL、XGA、VGA の中から選択します。

P.94

SET-UP メニュー

SETUP メニューには全 2 ページ、8 つのメニュー項目があります。

SET-UP（1 ページめ）

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを調整します。

P.109

転送設定

画像を撮影したときに、パソコンに転送する設定にするか、転送しない設定にするかを指定します。

P.110

連番モード

画像のファイル名に連続する通し番号を自動的に付けます。

P.111

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードをフォーマットします。

P.112

日時設定

カメラに内蔵された時計の日時を設定します。

P.113

パワーオフ設定

バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を設定します。

P.113

SET-UP（2ページめ）

ビデオモード

ビデオの出力方式をNTSCまたはPALに設定します。

P.114

言語（LANG）

メニューやメッセージを表示する言語を、英語か日本語のいずれかに設定します。

P.115

再生メニュー

モードダイヤルを ▶ にセットしてMENUボタンを押すと、**再生メニュー**画面が表示されます。再生メニューには、5つのメニュー項目があります。

削除

全画像、または選択した画像の削除、およびプリント指定を解除する場合に使用します。

P.126

スライドショー

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を順番に自動再生します。また、再生する間隔を設定することができます。

P.128

プロテクト設定

不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。

P.130

プリント指定

DPOF対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付を設定します。

P.132

転送マーキング設定

撮影した全画像をパソコンに転送する設定にするか、または全画像を転送しない設定にするかを選択します。

P.134

この章は次の３部で構成されています。

撮影前の準備

撮影前の準備をステップごとに説明します。

簡単な撮影

基本的な撮影方法をステップごとに説明します。

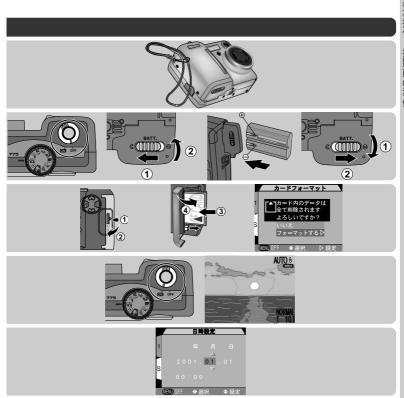
レビュー再生モード／簡易再生モード機能

撮影中に画像を再生したり削除する方法を説明します。

撮影前の準備

撮影前の準備を行います。各ステップの詳細については、それぞれの参照ページをご覧ください。

	基本操作—撮影前の準備	
ステップ1	ストラップを取り付けます	P.32
ステップ2	バッテリーを入れます	P.33～35
ステップ3	コンパクトフラッシュカードを入れます（コンパクトフラッシュカードをフォーマットします）	P.36～39
ステップ4	バッテリーの容量を確認します	P.40～41
ステップ5	日付と時刻を設定します	P.42～43

1 基本操作―撮影前の準備

ステップ 1：ストラップを取り付けます

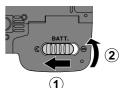
カメラにストラップを取り付けます。

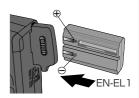
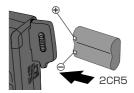
ステップ 2：バッテリーを入れます

このカメラに付属している専用Li-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL1、または市販の6Vリチウム電池（2CR5）を1本使用します。

2.1 カメラの電源スイッチを「OFF」にセットします。

2.2 バッテリーカバーを開けます。

- バッテリーカバー開閉ノブを ⊂ 側にスライドさせて（①）、バッテリーカバーを開けます（②）。

2.3 バッテリーを入れます。

- リチャージャブルバッテリーEN-EL1を右の図のようにカメラの中に入れます。
- バッテリーの向きに注意して挿入してください。
- 6Vリチウム電池（2CR5）をご使用になる場合も、EN-EL1の向きと同じように挿入してください。

付属のバッテリーについて

付属のバッテリーEN-EL1は、フル充電されていません。バッテリーの容量が少ない場合は、付属のチャージャーを使用して、バッテリーを充電してください。充電方法は付属のチャージャーの使用説明書をご覧ください。また、バッテリー容量の確認方法は、「撮影前の準備—ステップ4」（P.40）をご参照ください。

2.4 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを閉じて（①）、バッテリーカバー開閉ノブを ⊖ 側にスライドさせます（②）。
- カメラの操作中などにバッテリーが外れてしまわないように、カバーがしっかりと閉じていることをご確認ください。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。

バッテリーについてのご注意

- 専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の取り扱いについては、バッテリーの使用説明書をご参照ください。また、バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（P.vii～viii）や「バッテリーの取り扱いについて」（P.x）の注意事項を必ずお守りください。
- バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの容量が充分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。
- カメラの液晶モニタに「電池残量がありません」と表示された専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1をカメラに入れたまま、何度も電源をオンにすると、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。「電池残量がありません」と表示された専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1は充電してご使用ください。
- カメラの使用直後にはバッテリーが熱くなっていることがありますので、バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源をOFFにしてバッテリーの温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- 6Vリチウム電池（2CR5）で長時間カメラを使用した場合、グリップが熱くなることがありますが異常ではありません。
- カメラを三脚に取り付けた状態でバッテリーの交換はできません。

撮影された画像について

バッテリーを取り外しても、撮影した画像に影響はありません。

使用できるその他の電池および電源について

COOLPIX775は市販の2CR5リチウム電池を使用することもできます（2CR5リチウム電池は充電できません）。また、再生するときなど長時間ご使用になる場合は別売のACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21（P.146）のご使用をおすすめします。

ACアダプタEH-21の電源プラグをコンセントに接続し、EH-21のDCプラグをCOOLPIX775のDC入力端子に接続することで、家庭用電源（AC100V）からCOOLPIX775へ電源を供給することができます。この方法でCOOLPIX775を使用するときは、次のことにご注意ください。

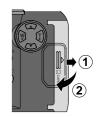
- ACアダプタ端子を抜き差しするときは、カメラの電源がOFFになっていることを必ず確認してください。
- COOLPIX775のDC入力端子には、ACアダプタEH-21以外のものを接続しないでください。
- ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ、カメラ本体が熱を持つことがありますが、故障ではありません。
- EN-EL1をCOOLPIX775に入れたまま充電することはできません。

ステップ３：コンパクトフラッシュカードを入れます

COOLPIX775は、コンパクトフラッシュカードに画像を記録します。ここでは、コンパクトフラッシュカードをカメラに装着する方法について説明します。

3.1 カメラの電源スイッチをOFFにセットします。

3.2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

- コンパクトフラッシュカードカバーをスライドさせて開けます（①、②）。
- コンパクトフラッシュカードのラベル（表側）を右下の図のように手前に向けて差し込みます（③）。
- コンパクトフラッシュカードを押し込むと、カチッと音がしてイジェクトレバーが少し手前に出てきます。（イジェクトレバーの先端とコンパクトフラッシュカードの先端が揃うと、コンパクトフラッシュカードが正しく装着されたことになります）。
- コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます（④）。

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。カメラの電源スイッチをOFFにセットして、コンパクトフラッシュカードカバーを開け（①）、イジェクトレバーを押し込む（②）と、カードが少し飛び出します。

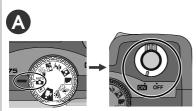
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっていることがありますので、取り出す場合はご注意ください。

参照ページ

P.146　使用できるコンパクトフラッシュカード

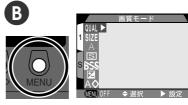
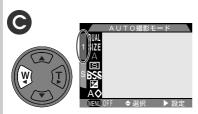
コンパクトフラッシュカードのフォーマットについて

初めてコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX775に使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードを使用できる状態にする必要があります（この作業を「フォーマットする」といいます）。付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマット済みです（P.112）。

A

モードダイヤルを AUTO に合わせて、カメラの電源スイッチを ON にセットします。

B

MENU ボタンを押します。AUTO 撮影モード画面が表示されます。

C

マルチセレクターの W を押します。画面左の「1」タブが赤く表示されます。

D

▼を押します。タブ「S」が選択されて、赤く表示されます。

E

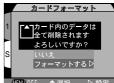
T を押します。SET-UPメニュー画面が青く表示されます。

F

▲または▼で「カードフォーマット」を選択します。

Tを押すと、「カードフォーマット」の画面に切り換わります。

Tを押すと、カードフォーマットが開始され、「カードフォーマット中」という画面が表示されます。

- フォーマットが終了したら、MENUボタンを２回押して終了します。

▲または▼で「フォーマットする」を選択します。

- カードフォーマットを行わない場合は、マルチセレクターの▲または▼で「いいえ」を選択して、W または T を押すと、SET-UP メニュー画面に戻ります。

カードフォーマット中のご注意

「カードフォーマット中」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、電源を切ったり、コンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。

フォーマットする前に確認しましょう

カードをフォーマットすると、カード内のデータは全て消去されます。フォーマットする前に保存したい画像をコンピュータに転送することをおすすめします。

ステップ４：バッテリーの容量を確認します

撮影する前にバッテリーチェック表示を確認します。

4.1 カメラの電源スイッチを ON にセットします。

4.2 液晶モニタでバッテリーチェック表示を確認します。

表示	意味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの容量は充分です。	通常
（点灯）	バッテリーの容量が少なくなりました。充電することをおすすめします。※1	通常（連写可能枚数等に制限があります）
電池残量がありません。	バッテリーの容量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。※2	撮影不可

※１：6V リチウム電池をご使用の場合は、予備の電池をご用意ください。
※２：6V リチウム電池をご使用の場合は、新しい電池と交換してください。

バッテリーについて

- 撮影の際は予備のバッテリーをご用意することをおすすめします。
- バッテリーの残量がなくなると、「電池残量がありません」という警告メッセージが表示されます。「電池残量がありません」と表示された専用リチャージャブルバッテリー EN-EL1 は、充電してからご使用ください。
- 「電池残量がありません」と表示された専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1をカメラに入れたまま、何度も電源をオンにすると、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。
- バッテリーの容量がなくなっても、コンパクトフラッシュカードにいったん保存された画像・撮影データは保持されます。
- バッテリーの残量が全くなくなったときは、カメラの全機能が停止します。

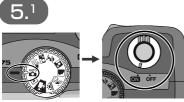
時計用の電池について

COOLPIX775 の時計（日付・時刻）用の電池は、カメラに付属の専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1 とは別に、カメラに内蔵されています。カメラにバッテリーを入れるか、別売の専用 AC アダプタを使用して家庭用電源に接続すると、時計用の電池は数時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取り出しても、記憶された日時は数時間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入ってない場合は、記憶された日時データは失われますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合は、一度セットした日時データは失われることがあります。
- 日時データが失われた場合は、液晶モニタに時計マークが点滅します。

ステップ５：日付と時刻を設定します

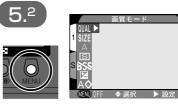
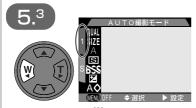
ご購入時のカメラは時計の日付と時刻が設定されていません。

初めてご使用になるときは、以下の手順にそって日時をセットしてください。撮影した画像と動画には、設定された日付と時刻が撮影日時として記録されます。

5.1

モードダイヤルを AUTO に合わせて、カメラの電源スイッチを ON にします。

5.2

MENU ボタンを押します。AUTO 撮影モード画面が表示されます。

5.3

マルチセレクターの W を押します。画面左のタブ「1」が選択されて、赤く表示されます。

5.4

▼を押します。タブ「S」が選択されて、赤く表示されます。

5.5

T を押します。SET-UPメニュー画面が青く表示されます。

5.6

▼で「日時設定」を選択します。

T▶ボタンを押します。「日時設定」の画面に切り換わります。

5.8

「年」が赤く表示され点滅します。▲または▼で年をセットします。

- 数値は▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。

5.9

T▶を押して、「月」の設定に移ります。5.8、5.9の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

5.10

T▶を押します。「年月日」の位置が赤く表示されて、文字が点滅します。

5.11

▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

5.12

T▶を押します。表示順が決定して、日付と時刻が設定され、画面はSET-UPメニューに戻ります。撮影画面に戻るには、MENUボタンを２回押します。

時計マークについて

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マークが点滅します。撮影に影響はありませんが、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」と記録されます。

簡単な撮影

ここでは、モードダイヤルを AUTO（AUTOモード）にセットして行う基本的な撮影方法について説明します。AUTO にセットすると、各機能の設定が自動的に行われるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

AUTO
NORMAL
[10]
MENU
W
T
AF
ON
OFF
775
AUTO

ステップ１：撮影を始める前に

撮影を始める前に、次の手順を行ってください。

1.1 モードダイヤルを AUTO にセットします。

- モードダイヤルを回して、━マークに AUTO を合わせます。

1.2 カメラの電源スイッチを「ON」にセットします。

- レンズカバーが自動的に開いて、レンズが繰り出します。液晶モニタには、撮影画面とカメラの設定内容が表示されます。
- AUTO にセットすると、液晶モニタの左上に数秒間 AUTO のアイコン（絵表示）が表示されます。

1.3 液晶モニタの表示を確認します。

- 撮影を始める前に、バッテリー容量とコンパクトフラッシュカードのメモリ容量を確認します。
- バッテリー容量が少ない場合は、バッテリーチェック表示 が液晶モニタに表示されます。早めにバッテリーを充電、または交換してください(6Vリチウム電池の場合は、予備の電池をご用意ください)。
- バッテリー残量がない場合は、「電池残量がありません」という警告が表示されます。充電済みのバッテリー（または新品の6Vリチウム電池）と交換してください（P.33）。
- 液晶モニタには、撮影コマ数（撮影可能コマ数）も表示されます。撮影コマ数がゼロになったら、新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を削除してください（P.126）。

  また、画質モードや画像サイズを変更することによって、表示される撮影コマ数より多くの画像を撮影できることがあります（P.92）。

ステップ 2：カメラの機能の初期設定を確認します

ご購入後にカメラを初めてご使用になる場合、カメラの各機能は、下の表のように設定されています（この状態を「初期設定」といいます）。「簡単な撮影」では、カメラの各機能を下の表の初期設定を使用して、撮影する手順について説明します。

カメラの各機能を初期設定から変更する場合は、参照ページをご覧ください。

カメラの機能	初期設定	内容	操作ボタン	
フォーカスモード	オートフォーカス	カメラとの距離が 30cm 以上の被写体に自動的にピントを合わせます。		P.82～87
スピードライトモード	自動発光	被写体が暗いときに、自動的にスピードライトを発光します。		P.88～89
画質モード	NORMAL	記念撮影などの通常の撮影に適しています。	MENU、マルチセレクター	P.92～93
画像サイズ	FULL	画像サイズは 1600 × 1200 ピクセルです。ハガキサイズからこの使用説明書程度の大きさにプリントする場合に適しています。画質モードが NORMAL、画像サイズが FULL の場合、8MB のコンパクトフラッシュカードに約 16 枚の画像が保存できます。	MENU、マルチセレクター	P.92～95
ホワイトバランス	AUTO	様々な照明光に合わせてホワイトバランスを自動的に調整します。	MENU、マルチセレクター	P.96～97
連写	単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに、１枚ずつ撮影します。	MENU、マルチセレクター	P.98～99

カメラの機能	初期設定	内容	操作ボタン	👁
BSS	OFF	連続撮影した中から最もシャープな画像を記録する機能（BSS：ベストショットセレクション）を使用しません。	MENU、マルチセレクター	P.100～101
露出補正	±0	意図的に露出値を変えず、カメラが決めた適正露出値にします。	MENU、マルチセレクター	P.102～103
輪郭強調	AUTO	最適な輪郭を自動的に調節します。	MENU、マルチセレクター	P.104～105

ステップ3：構図を決めます

撮影する画像の構図を決めます。

3.1 カメラを構えます

手ブレを防ぐため、図Aのようにカメラは両手でしっかりと持ってください。

3.2 構図を決めます

写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。

上のインジケーターはズームの量を表します。
W または T を押し続けると変化します。

- COOLPIX775は、3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタン（マルチセレクターの W ボタンおよび T ボタン）を操作することにより、撮影する範囲を変更することができます。
- T ボタンを押すと、液晶モニタおよびファインダーには、遠くの被写体が徐々に大きく写ります（「望遠側にズーミングする」といいます）。また、W ボタンを押すと、ファインダーおよび液晶モニタに写る範囲が徐々に広くなります（「広角側にズーミングする」といいます）。
- 液晶モニタを使用して撮影する場合には、最も望遠側で約2秒以上 T を押し続けると、さらに2.5倍まで自動的に電子ズームが働きます（P.81）。

レンズとスピードライトの使用上のご注意

撮影の際に、指や髪の毛などでレンズやスピードライトをさえぎらないようにご注意ください。画像が暗くなったり、部分的にぼやけたりすることがあります。

液晶モニタとファインダーについて

液晶モニタでは撮影したい画像と同等の画像が表示されます。また、カメラの設定内容を確認しながら構図を決めることができます。

ファインダーを使用して構図を決める場合は、見える範囲と撮影して得られる画像が正確に一致しない場合があります。

次の場合は液晶モニタを使用して撮影してください。

- マクロモードを使用している場合（P.83）。
- 被写体との距離が 1m 以内の場合。
- 電子ズームを使用している場合（P.81）。
- 別売のコンバータを使用している場合（P.146）。

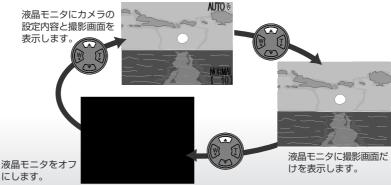
ファインダーを使用して構図を決める場合は、液晶モニタの表示を消すと、電池の消費を節約できます（下記参照）。また、明るい場所で液晶モニタが見えにくいときはファインダーを使用すると便利です。

液晶モニタの表示切り換えについて

モードダイヤルが AUTO モードまたはシーンモードのいずれかにセットされている場合は、マルチセレクターの▲ボタンを押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

液晶モニタにカメラの設定内容と撮影画面を表示します。

液晶モニタに撮影画面だけを表示します。

液晶モニタをオフにします。

ステップ 4：ピントを合わせます

4.1 写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央にして、シャッターボタンを半押しし、ピントが合っていることを確認します。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている場合は、ファインダー右側の緑色 LED が点灯します。緑色LEDで、ピントの状態を確認できます。
- 被写体が暗い場合は、スピードライト（フラッシュ）が自動的に発光します。ファインダー右側の赤色 LED は、スピードライトの状態を表します。

ランプの状態		意味
赤色 LED	点灯	スピードライトの充電が完了です。いつでもスピードライト撮影ができます。
	点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	消灯	被写体が明るいため、スピードライトは発光しません。
緑色 LED	点灯	被写体にピントが合っています。
	高速点滅	被写体にピントを合わせることができません。AF ロック撮影を行ってください（P.53）。

ピント合わせの際のご注意

液晶モニタが点灯している状態では、常時オートフォーカスが行われます。ピントが合っていなくても、シャッターをきることができるので、液晶モニタでピントが合っていることを確認して撮影してください。

写したい被写体が構図の中央にないときは（AF ロック撮影）

写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央にしてシャッターを半押しすると、ピントの合った状態で固定されます。これを「AFロック」といいます。この機能は写したい被写体が構図の中央にない場合や、構図を工夫したい場合に便利です。

❶ ピントを合わせます

写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央にして、シャッターボタンを半押しします。

❷ 緑色 LED を確認します

ファインダー右側の緑色LEDの点灯を確認します。このまま半押ししている間は、ピントと露出が固定（AF/AEロック）されます。

❸ 構図を変えて撮影します

シャッターボタンを半押ししたまま、構図を決めて、シャッターボタンを最後まで押し込んで撮影します。

AFロックしている間に、カメラと被写体の距離が変わった場合は、ピントが合わなくなります。被写体が動いて距離が変わった場合などは、いったんシャッターボタンから指を離してピントを合わせ直してください。

ステップ5：撮影します

5.1 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- 撮影された画像は、液晶モニタに数秒間表示された後、コンパクトフラッシュカードに記録されます。

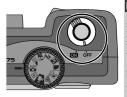
画像の一時保存メモリについて

撮影した画像がコンパクトフラッシュカードに記録されている間にシャッターボタンを押すと、新しく撮影した画像は一時保存され、一時保存メモリの空き容量がなくなるまで、撮影を続けることができます（連写モード時に、画質モードがNORMAL、画像サイズがFULLの画像を約8枚保存できます）。一時保存メモリの空き容量がなくなると、砂時計マーク（⌛）が表示され、シャッターボタンを押すことはできません。⌛マークが消えると、再び撮影できます。

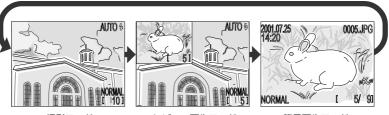
画像記録中のご注意

画像をコンパクトフラッシュカードに記録している間、緑色LEDが点滅します。緑色LEDの点滅が消えるまで、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。画像を記録中にコンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりすると撮影した画像が失われることがあります。

ステップ 6：カメラの電源を OFF にします

- 撮影を終了したい場合は、電源スイッチを「OFF」にセットします。
- 電源スイッチが「ON」にセットされていると電池が消耗します。カメラを保管する前に、必ず電源スイッチが「OFF」にセットされていることを確認してください。

レビュー再生モード / 簡易再生モード機能

デジタルカメラは、撮影後すぐに画像を確認できるので、撮影した画像が自分の意図しているものと異なる場合などに、カメラの設定や構図を変えて次の撮影を行うことができます。このように、撮影後すぐに画像を確認したい場合は、「レビュー再生モード」、「簡易再生モード」が便利です。このモードでは、モードダイヤルを▶(再生) モードに切り換えることなく、すぐに画像を確認できます。

- 撮影した画像をすぐに確認するには、QUICK▶（クイックレビュー）ボタンを押します。
- 撮影後、モードダイヤルは撮影モード（AUTO モードまたはシーンモード）のまま、QUICK▶ ボタンを押すと、液晶モニタの左上に最後に撮影した画像が縮小表示されます(**レビュー再生モード**)。レビュー再生モードでさらに QUICK▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタに全体的に表示されます（**簡易再生モード**）。表示する画像の切り換えは、マルチセレクターの▲（一つ前に撮影した画像を表示）または▼（一つ後に撮影した画像を表示）で行います。
- QUICK▶ ボタンを押すごとに液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

撮影モード　　レビュー再生モード　　簡易再生モード

- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影することができます。

レビュー再生モード

QUICK ▶ ボタンを押すと、レビュー再生モードになります。コンパクトフラッシュカードに最後に記録された画像が液晶モニタの左上に縮小表示されます。操作方法は次の通りです。

目的	ボタン	カメラの動作
別の画像を見る	W T ▲ ▼	マルチセレクターの▲を押すと、前に記録された画像が表示されます。マルチセレクターの▼を押すと、後に記録された画像が表示されます。マルチセレクターを押したままにすると、コマ番号が変わり、ボタンから指を離したところの番号の画像が表示されます。
簡易再生モードにする	QUICK ▶	画像を全画面表示します。
撮影する	シャッターボタン	シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと、撮影できます。

再生モード

この章で紹介しているレビュー再生モード、簡易再生モード機能は、撮影モード時に、モードダイヤルを切り換えずに画像を見るときに使用すると便利です。

画像を確認するには、レビュー再生モード、簡易再生モード機能の他に、モードダイヤルを ▶ にセットして、再生モードに切り換える方法があります(P.118)。

▶ モードにセットした状態でMENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。この再生メニューでは、複数の画像の削除や、画像のプロテクト設定、スライドショー、転送マーキング設定、プリント指定などを設定できます。(P.124)。

簡易再生モード

レビュー再生モードで QUICK▶ ボタンを押すと、レビュー再生モードで縮小表示されていた画像が液晶モニタ全体に再生される「簡易再生モード」になります。簡易再生モードでは、操作は次の表の通りです。

目的	ボタン	カメラの動作
別の画像を見る	マルチセレクター（▲／▼）	マルチセレクターの▲を押すと、一つ前に記録された画像が表示されます。▼を押すと、次に記録された画像が表示されます。
画像情報を表示／非表示にする	マルチセレクター（W◀）	マルチセレクターの W◀ を押すごとに、表示されている画像情報を表示したり、非表示にしたりします。
表示されている画像を削除する	🗑（▲🌷⏱）	削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲／▼を押して、「はい」か「いいえ」のいずれかを選択します。マルチセレクターの T▶ を押すと、選択が実行されます。 削　除 1 枚削除します よろしいですか？ いいえ▷ はい MENU OFF　◆設定　▷決定 • 「**はい**」を選択すると、画像が削除されます。 • 「**いいえ**」を選択すると、画像は削除されず簡易再生モードに戻ります。
サムネイル画像を見る	▦（⚡👁）	▦ ボタンを押すと、最大 9 コマのサムネイル画像（縮小表示）を表示します。
パソコンに転送する画像を選択する	TRANSFER ボタン	転送設定された画像には（転送）マークが付きます。転送したい画像を新たに選択する場合は、**TRANSFER**ボタンを押します。転送設定を解除する場合には、転送設定されている画像を選択して**TRANSFER**ボタンを押すと、選択が解除されて（転送）マークが消えます。
撮影モードに戻る	シャッターボタン／QUICK▶ボタン	シャッターボタンを半押し、または QUICK▶ ボタンを押すと、撮影モードに戻り、ピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと、画像が撮影されます。

サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に ▦ ボタンを押すと、液晶モニタに最大9コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルレビューモード」になります。操作は次の表の通りです。

目的	ボタン	カメラの動作
画像を選択する	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲/▼/W◀/T▶を押すと、サムネイル画像が選択されます。
サムネイル画像を大きくする	⊞ (⚡◉)	9コマのサムネイル画像が表示されている時に⊞ボタンを1度押すと、4コマのサムネイル画像が表示されます。もう1度⊞ボタンを押すと1コマが全体に表示されます。もう1度押すと再び9コマのサムネイル画像に戻ります。
画像を削除する	🗑 (▲🌷🕓)	削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「はい」か「いいえ」のいずれかを選択します。マルチセレクターのT▶を押すと、選択が実行されます。 削除 / 1枚削除しますよろしいですか？ / いいえ▷ / はい / MENU OFF ◆設定 ▷決定 • 「**はい**」を選択すると、画像が削除されます。 • 「**いいえ**」を選択すると、画像は削除されずサムネイルレビューモードに戻ります。
パソコンに転送する画像を選択する	TRANSFERボタン	転送設定された画像には(転送)マークが付きます。転送したい画像を新たに選択する場合は、TRANSFERボタンを押します。転送設定を解除する場合には、転送設定されている画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、選択が解除されて(転送)マークが消えます。
撮影画面に戻る	シャッターボタン/QUICK▶ボタン	シャッターボタン半押し、またはQUICK▶ボタンを押すと、撮影画面に戻り、ピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと、画像が撮影されます。

パソコンに転送する画像を選択する

簡易再生モードまたはサムネイルレビューモード時に、パソコンに転送したい画像の選択や転送設定の解除を TRANSFER ボタンで設定できます。

簡易再生モード

サムネイルレビューモード

TRANSFER ボタン

転送設定されている画像には、が表示されています。転送設定されていない画像を選択して TRANSFER ボタンを押すと、転送設定されて、が表示されます。

画像がすでに転送設定されている場合は、TRANSFERボタンを押すと、転送設定が解除されてが消えます。

モードダイヤルを ▶ に切り換えた再生モードでも転送設定が行えます（P.119）。

撮影した画像の楽しみ方

この章では、デジタルカメラで撮影した画像の簡単な楽しみ方を紹介しています。

パソコンで使用する

電子メールで送ったり、ホームページに掲載するための画像の撮影方法と、パソコンに転送するための方法を紹介します。

画像をプリントする

デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）のプリント用画像の撮影方法やプリント指定の設定方法を紹介します。

パソコンで使用する

デジタルカメラで撮影したデジタル画像は、パソコン画面で見たり、電子メールで送ったり、フロッピーディスクやハードディスクなどに記録するなど、さまざまな形態で簡単に利用することができます。

パソコンに画像を転送する場合は、アプリケーションソフト Nikon View 4 を使用します。

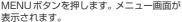
この章では、インターネット用に画像を撮影し、パソコンに転送する方法を説明します。詳細はNikon View 4リファレンスマニュアルCDをご参照ください。

電子メールやホームページ用の画像を撮影する

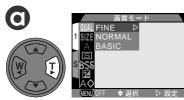
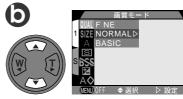
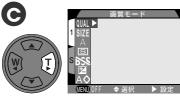
デジタル画像にはさまざまな形式がありますが、COOLPIX775 ではJPEG形式で画像を記録します。JPEG形式は、電子メールやホームページ用の画像として最適です（P.93）。

インターネットで使用する画像を撮影するためには、カメラを以下のように設定することをおすすめします。

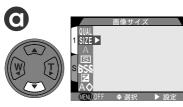
1 撮影モード（AUTO またはシーン撮影モード）で、MENU ボタンを押して「画質モード」を表示します。

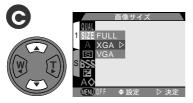
MENUボタンを押します。メニュー画面が表示されます。

「画質モード」が赤く表示（選択されていることを示します）されていることを確認します。

2 画質モードを「BASIC」または「NORMAL」に設定します

画質モードを「BASIC」または「NORMAL」に設定すると、「FINE」よりファイル容量が小さくなり、インターネットでのデータ送信時間が短くなります。

T ボタンを押します。「画質モード」の詳細の画面が表示されます。

▲または▼ボタンを操作して、「BASIC」または「NORMAL」を選択します。

T ボタンを押して、選択を決定します。

3　画像サイズを「VGA」または「XGA」に設定します。

WWW ブラウザ用の画像サイズとしては「VGA」（640 × 480 ピクセル）が一般的です。画像サイズが小さいと、データ送信時間も短くなります。

▼ボタンを押して、「画像サイズ」を選択します。

T▶ ボタンを押します。「画像サイズ」の詳細の画面が表示されます。

▲または▼ボタンを押して、「VGA」か「XGA」を選択し、T▶ ボタンを押して決定します。

MENU ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

4 撮影します

「基本操作—簡単な撮影」（P.44）の手順通りに撮影を行います。

パソコンから電子メールやホームページに画像を送る場合、画質モードと画像サイズの組み合わせによって、ファイル容量とデータ送信時間は次の表のように変わります。

※ ファイル容量は画像の絵柄によって変わります。また、データ転送時間は通信環境によって変わります。

画質モード	画像サイズ（ピクセル）	ファイル容量	データ送信時間（28.8Kpbs）
BASIC	XGA（1024 × 768）	約 100 KB	約 40 秒
NORMAL	VGA（640 × 480）	約 90 KB	約 35 秒
BASIC	VGA（640 × 480）	約 50 KB	約 20 秒

画質モード		ファイル容量	画像サイズ	
	高	大	大	
FINE	↑	↑	↑	FULL
NORMAL				XGA
BASIC	↓	↓	↓	VGA
	低	小	小	

参照ページ

P.92　画質モードと画像サイズ

電子メールやホームページ用の画像を転送する

電子メールやホームページ用の画像を撮影したら、パソコンに転送します。

1　撮影した画像を記録しているコンパクトフラッシュカードをカメラに入れます。カメラのモードダイヤルを ▶ に合わせ、電源スイッチを「ON」にします。

2　電子メールで送ったり、ホームページで使用する画像を確認します。確認後、電源スイッチを「OFF」にします。

- 液晶モニタの右側に マークが付いている画像をパソコンに転送できます。カメラのご購入時の設定（初期設定）では、撮影したすべての画像に マークが付きます（転送設定 P.110）。
- パソコンに転送しない画像は、TRANSFER ボタンを押してマークの表示を消します。また、マークが付いていない画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、マークが表示されパソコンに転送する設定にすることができます。
- (サムネイル) ボタンを押すとサムネイル表示になります。サムネイル表示時もマークの設定／非設定を切り換えられます。

3　パソコンを起動します。

- パソコンにはあらかじめ Nikon View 4 をインストールしておく必要があります。
- Nikon View 4 をインストール前に、付属の画像データベースソフトをインストールしてください。詳しくは付属の Nikon View 4 リファレンスマニュアル CD を参照してください。

✔ Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional をご使用になる場合のご注意

Nikon View 4をご使用になる場合（インストール/アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professional の場合）でログオンしてください。

4 カメラとパソコンを接続します。

- パソコンに専用USBケーブルUC-E2を接続します。接続するポートについては、ご使用になるパソコンの説明書を参照してください。
- カメラのデジタル端子/ビデオ出力端子に専用USBケーブルUC-E2を接続します（機能の詳細—接続 P.136）。

5 カメラの電源スイッチを「ON」にします。

- Nikon View 4が自動的に起動し、パソコンの画面には次のような［画像の転送］画面が表示されます。Nikon View 4の設定によって、サムネイルを一覧表示する画面で起動することもできます。
- Nikon View 4が起動すると、カメラの液晶モニタは消灯します。
- パソコンとカメラをUSBケーブルで接続すると、レンズが繰り出します。

Windows XP Home Edition/Professionalをご使用の方へ

USB接続したカメラの電源スイッチを**ON（オン）**にすると、［リムーバブルディスク］（自動再生）ウィンドウが表示されます。［Nikon View 4使用］を選択し、［OK］をクリックすると、Nikon View 4が起動します。このとき、［常に選択した動作を行う］のチェックボックスにマークすると、次にカメラを接続（電源スイッチをオン）したときに、自動的にNikon View 4が起動します*。

* 最初にカメラを接続して設定したポートと別のUSBポートにカメラを接続すると、再度、［リムーバブルディスク］（自動再生）ウィンドウが表示される場合があります。もう一度、同じ設定をするか、最初にカメラを接続したポートに接続しなおしてください。

補足

カメラの電源スイッチを「ON」にしたままでUSBケーブルを接続することもできます。

6 TRANSFER ボタンを押します。

- カメラの液晶モニタに、「画像転送の準備中です」というメッセージが表示されます。
- 「画像をPCに転送中です」というメッセージが出ると、マークの付いた画像がカメラからパソコンに転送されます。
- カメラの液晶モニタに「転送終了しました」と表示されたら、転送は完了です。
- カメラからパソコンに画像を転送する時間は、パソコンの動作環境によって変化します。

7 カメラとパソコンの接続を終了します。

- カメラの液晶モニタに「転送終了しました」と表示されたら、必ず次の操作をしてからカメラの電源を「OFF」にして、USBケーブルを抜いてください。

- **Windows XP Home Edition/Professionalの場合**：パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します。」を選択してください。

- **Windows 2000 Professionalの場合**：パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します」を選択してください。

- **Windows Millennium Edition（Me）の場合**：パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USBディスクードライブ（E:）の停止」を選択してください。

- **Windows 98/Windows 98 Second Edition（SE）の場合**：マイコンピュータの中の「リムーバブル ディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

- **Macintoshの場合**：デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

※「ドライブ（E:）」のＥはご使用のパソコンによって異なります。

転送中のご注意

カメラとパソコンを接続して、TRANSFERボタンを押して画像を転送中に、次の操作を行わないでください。カメラ、パソコンが作動しなくなる場合があります。

- CFカードを抜く
- カメラの電源をオフにする
- USBケーブルを抜く

画像をプリントする

撮影したデジタル画像をプリントすることもできます。

COOLPIX775で撮影した画像を家庭用のプリンタで簡単にプリントしたり、画像を記録したコンパクトフラッシュカードやフロッピーディスクなどをプリントショップに持っていき、プリントを注文することもできます。

プリントする場合に、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に対応しているプリンタを使用すると、画像を記録した**コンパクトフラッシュカードから直接プリント**することができます。

プリント用画像を撮影する

プリント用の画像を撮影する場合は、画質モードと画像サイズの設定が重要です。

画像サイズはプリントの仕上がりを大きく左右します。

一般的な家庭用インクジェットプリンタ（300dpi）では、カメラの画像サイズでVGA（640×480ピクセル）に設定した画像は、約5×4cmの大きさでプリントするのが適しています。カメラの画像サイズをFULLに設定した画像は、約13×10cmの大きさでプリントするのが適しています。プリンタの設定を変更して、大きいサイズでもプリントできますが、色の粒子が目立ち粗く見えてしまうことがあります。

画像サイズと同様に、画質モードもプリントの仕上がりを大きく左右します。プリントサイズが大きい場合は、特に仕上がりに影響します。

プリント用の画像を撮影する場合は、画像サイズを「XGA」か「FULL」に、画質モードを「FINE」か「NORMAL」に設定することをおすすめします。画質モードと画像サイズの設定については「画質モードと画像サイズ」の項をご参照ください（P.92）。

デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）

デジタルカメラで撮影した画像を家庭用のプリンタやプリントショップでプリントするための記録フォーマットが「DPOF（**D**igital **P**rint **O**rder **F**ormat）」です。これは、現在、各社独自仕様となっているプリント情報を標準化することで、より効率的なプリントを実現するための規格です。COOLPIX775は、このDPOFに準拠しています。ご使用になるプリンタ、プリントサービスがDPOFに対応していることをご確認ください（ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、撮影情報、日付機能に対応していません）。

プリント指定（DPOF 設定）

再生メニューの「プリント指定」で、画像をプリントする設定を行います。DPOF（ P.71）対応のプリンタ（プリントショップのプリンタまたは家庭用プリンタ）を使用すると、「プリント指定」で設定した内容が自動的に適用されます。

撮影した画像を記録しているコンパクトフラッシュカードをカメラに入れます。カメラのモードダイヤルを ▶ に合わせ、電源スイッチを「ON」にします。

MENUボタンを押します。「再生メニュー」が表示されます。

マルチセレクターの▼ボタンを押して、「プリント指定」を選択します。

4

マルチセレクターでプリント指定する画像を選択します。「機能の詳細─再生」の「プリント指定」の「プリント指定」の手順にそって、プリントする画像を選択します（ P.132）。

コンパクトフラッシュカードに記録した画像のプリント指定は、いつでも追加、変更できます。設定が終わったら、カメラの電源スイッチを「OFF」に合わせ、コンパクトフラッシュカードを取り出します。

DPOF 対応のプリンタでプリントする

PC カードスロットを装備したプリンタに、PC カードアダプタを使用して挿入すると、パソコンを使用しなくてもプリンタから直接プリントできます。

プリントショップでプリントする

家庭用プリンタを持っていなくても、撮影した画像をプリントショップに持っていけば、手軽にプリントできます。なお、プリントショップでプリントを依頼する場合は、フロッピーディスクなど他の記録媒体に画像を保存しなければならない場合もありますので、ご依頼のプリントショップでプリント価格、ファイル型式などとともに対応する記録媒体もあわせてご確認ください。

機能の詳細

この章は次の７部で構成されています。

ボタンとダイヤルの使用方法

マルチセレクターの W◀ と T▶ ボタン、⚡👁 ボタン、▲🌷⏱ ボタン、モードダイヤルなど、よく使うボタンとダイヤルの使用方法について説明します。

撮影モードのメニュー画面

AUTO 撮影モードのメニュー画面とシーン撮影モードのメニュー画面を使用したカメラの設定方法について説明します。

SET-UP メニュー

SET-UPメニューを使用したカメラの設定方法について説明します。

画像の再生

再生モード（▶）を使用する画像の再生方法や、再生メニューを使用したカメラの設定方法について説明します。

接続

カメラとパソコンを接続して、画像をパソコンに転送する方法について説明します。Nikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROM もあわせてご覧ください。

資料編

カメラのお手入れ方法やカメラが正しく動作しなかった場合の対処方法について説明します。カメラの仕様や、COOLPIX775でご使用になれる別売アクセサリーについて紹介します。

索引

この使用説明書の索引です。

ボタンとダイヤルの使用方法

モードダイヤルとカメラ背面の各ボタンの機能について、撮影モードを中心に説明します。

操作するボタン・ダイヤル	参照先	👁
	撮影モードについて	P.77～79
W ◀ / T ▶	ズーム機能について	P.80～81
	フォーカスモードについて	P.82～85
	セルフタイマー機能について	P.86～87
	スピードライトモードについて	P.88～89

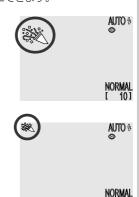
撮影モードについて

COOLPIX775のモードダイヤルには、AUTOモード、7種類のシーンモード、動画モードの9種類の撮影モードがあります。

モードダイヤルをAUTOにセットしてAUTOモードにすれば、ほとんどの撮影シーンに対応しますが、撮影状況によっては、シーンモードの中から撮影状況に合ったモードを選択した方が、より効果的な場合もあります。

COOLPIX775では、ポートレート撮影や風景撮影など7種類のシーンモードの中から選択することができます。撮影シーンや被写体に合わせたモードを選択すると、イメージに近い撮影が簡単にできます。

9種類の撮影モードの中から好みのモードを選択すると選択されたモードのアイコン（絵表示）が約7秒間液晶モニタの左上に大きく表示されます。

アイコンが拡大表示された後、それぞれのモードのアイコンは、シーンモードにセット時には、液晶モニタの左上に小さく表示され、動画モードにセット時には液晶モニタの左下に小さく表示されます。ただし、AUTOモードにセット時は、拡大表示後のアイコンは表示されません。

シーンモードについて

撮影状況によっては、最適な画像とならないことがありますので、その場合はAUTOモードで撮影し直すことをおすすめします。また、撮影後にパソコンなどでレタッチを行う方にはシーンモードはおすすめできません。

COOLPIX775には9種類の撮影モードがあります。以下の表の「使用する場合」を参考に、各モードの特徴を活用すれば、被写体や撮影意図に合わせて、効果的な撮影が行えます。

- スピードライトモードとフォーカスモードは、各撮影モードで使用可能なものです（初期設定では、いちばん上のモードとなります）。

モード名	使用する場面	スピードライトモード	フォーカスモード
AUTO	いちばん手軽に撮影できるオート撮影のモードです。スナップ撮影をはじめ、シャッターチャンスを逃さずにすぐに撮影したいときなどに便利です。また、露出補正やホワイトバランスなど高度な設定も可能です。パソコンで画像を加工する場合は、AUTOモードによる撮影をおすすめします。	AUTO⚡ ⊛ AUTO⚡◉ ⚡ ⚡	通常AF ⏲ ▲ 🌷 ⏲🌷
パーティー★	パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を生かした雰囲気のある画像に仕上げます。	AUTO⚡◉	通常AF ⏲
逆光	逆光で人物が影になってしまうときにスピードライトを発光して、人物が影にならないように撮影します。	⚡	通常AF ⏲
ポートレート	ポートレート撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。背景をぼかす度合いは、光の明るさで変化します。	AUTO⚡◉ ⚡ ⚡ AUTO⚡ ⊛	通常AF ⏲

参照ページ

P.88　スピードライトモードについて
P.82　フォーカスモードについて

モード名	使用する場面	スピードライトモード	フォーカスモード
夜景 ★	夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。	AUTO ⚡ 👁	通常 AF ⏲
風景	木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。	⊛	▲ ⏲
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。	AUTO ⚡ ⊛ AUTO ⚡ 👁 ⚡ ⚡	通常 AF ⏲ ▲ ✿ ⏲✿
夕やけ	美しい赤い夕やけ(朝やけ)を見た目のままに美しく表現します。	⊛	通常 AF ⏲ ▲
動画	無声動画を撮影します。シャッターボタンを押し込むと撮影が開始され、もう一度シャッターボタンを押し込むと撮影が終了します。液晶モニタには、撮影可能枚数表示のかわりに、動画時間表示が表示されます。動画の撮影は約15秒で自動的に終了します。また、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。動画は拡張子が「.MOV」の「QUICK Time 動画ファイル」として記録されます。	⊛	通常 AF

「手ブレ」について

★マークがついているモードは、手ブレに注意して撮影してください。★マークが付いているモードで撮影する場合は三脚の使用をおすすめしますが、三脚を使用しない場合は、カメラを平らな場所に安定させるか、体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを支えてカメラを固定してください。

ズーム機能について

COOLPIX775 は、光学３倍ズームと電子ズームを装備しています。マルチセレクターの W ボタンおよび T ボタンで操作することにより、撮影する範囲を変更することができます。

- 光学３倍ズームは、カメラのズームレンズを使用して、被写体を３倍まで拡大します。ズームボタン T を押して光学ズームを最も望遠側にして、２秒以上押し続けると、電子ズームが作動します。電子ズームはデジタル処理によって被写体を拡大します。

光学ズーム

• 望遠側にズーミングします

マルチセレクターの T ボタンを押すと、望遠側にズーミングします。液晶モニタおよびファインダーの画像（被写体）が拡大されます。

縮小

拡大

ズームボタンを押している間、液晶モニタの上部にズーム表示が表示されます。

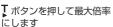
• 広角側にズーミングします

マルチセレクターの W ボタンを押すと、広角側にズーミングします。液晶モニタおよびファインダーに広い範囲が映し出されます。

電子ズーム

光学ズームを最も望遠側にして、T ボタンを2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。

T ボタンを押して最大倍率にします

T ボタンを2 秒以上押し続けます

液晶モニタにの上部にズーム表示と電子ズーム倍率が表示されます

電子ズームが作動中は、緑色 LED が低速点滅します

- 電子ズームは、被写体を光学ズームの最大倍率（3 倍）の 1.25 倍、1.6 倍、2 倍、2.5 倍と拡大することができます。
- 電子ズームが作動しているときに W ボタンを押すと、電子ズームの倍率が 1 段階縮小されます。

電子ズームについて

電子ズームは、カメラのセンサーがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。また、電子ズームで拡大した画像はファインダーで確認することはできません。

電子ズームを使用できない場合

- 液晶モニタの表示が消えている場合は、電子ズームを使用できません。液晶モニタが消えている場合は、電子ズームを利用する前にマルチセレクターの▲ボタンを押して、液晶モニタに画像を表示させてください（P.51）。
- 動画モード時に電子ズームは使用できません。

フォーカスモードについて

フォーカスモードは、5 種類のモードを選択できます。初期設定では、レンズから30cm以上離れた被写体に、自動的にピントが合う**通常AFモード**に設定されています。通常AFモードは、スナップ撮影など、一般的な撮影に対応しますが、撮影目的によって、木の枝越しに見える景色や窓から見える景色を撮影する場合や、花や名刺などを接写する場合など、撮影状況に応じたフォーカスモードを選択できます。

1 ボタンを押します。

2 液晶モニタでフォーカスモード表示を確認します。

• ボタンを押すと、表示は次のように移り変わります。

フォーカスモードは、次の５種類から選択できます（モードにより使用できる機能が制限されます）。

モード	機能	使用場面
（表示なし）通常 AF モード	被写体までの距離に応じて、自動的にピントを合わせます。	いちばん手軽に撮影できるモードです。スナップ写真やポートレートをはじめとするほとんどの撮影に幅広く対応します。レンズから 30cm 以上の被写体を撮影するときに使用します。
セルフタイマーモード	通常AFモードでセルフタイマー撮影を行います。セルフタイマーは10秒か３秒のどちらかに設定できます。	撮影者自身が写りたい記念撮影や、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止したい時に使用します。
遠景モード	遠くの被写体にピントを合わせます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。	窓から見える遠くの景色や風景、建物などを撮影するときなどに使用します。
マクロモード	レンズから4cm以上の被写体にピントを合わせます。ズームはワイド（広角）端からミドルポジションの範囲で使用できます。	花や昆虫などの近接撮影をするときに使用します。
マクロセルフモード	マクロモードでセルフタイマー撮影を行います。セルフタイマーは10秒か3秒のどちらかに設定できます。ズームはワイド（広角）端からミドルポジションの範囲で使用できます。	近接撮影の際、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止したい場合に使用します。

マクロモードについて

- マクロモードで被写体との距離が1m以内の場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲との間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めることをおすすめします。（P.51）。
- マクロモードでスピードライトを使用すると、被写体全体に光が行き渡らないことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで再生画像をご確認ください。

通常 AF モードについて

通常 AF モードは、コンティニュアス AF とシングル AF の 2 種類があります。液晶モニタを表示させるとコンティニュアス AF に、液晶モニタを非表示にするとシングル AF になります（P.51）。

通常 AF モード	機能	長所／短所
コンティニュアス AF（液晶モニタ：表示）	シャッターボタンの操作に関係なく、オートフォーカスでピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しすると、ピントが固定（AF ロック：P.53）します。	**長所** ピントが合うまでの時間が短いので、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。 **短所** ピントが合っていなくてもシャッターがきれます。撮影前に緑色LED および液晶モニタで確認してください。
シングル AF *（液晶モニタ：非表示）	シャッターボタンが半押しされているときのみ、ピント合わせが行われ、ピントが合うとピントが固定（AFロック）します。	**長所** ピントが合っているときにだけシャッターがきれます。 バッテリーの節約になります。 **短所** ピントが合うまで多少時間がかかります。

* 液晶モニタを非表示にした場合、シングルAFとなりますが、オートパワーオフ機能（P.113）が作動して、再びシャッターボタンが押されると液晶モニタが表示され、コンティニュアスAFになります。

オートフォーカスについて

オートフォーカスに適した被写体

- 被写体と背景の色が異なる場合
  ※ 被写体と背景が同じ色の場合は、オートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります。
- 光が被写体に均等に当たっている場合

オートフォーカスが苦手な被写体

- 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
  ※ オリの中の動物などを撮影する場合は、動物よりもオリの方がカメラに近い距離にあるので、オートフォーカスがうまく作動しない場合があります。
- 被写体が非常に暗い場合
  ※ ただし被写体が背景より明るすぎても、オートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります。
- 動きの速い被写体を撮影する場合

オートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合は、AFロックでピントを合わせ、構図を決めて撮影してください（P.53）。

セルフタイマー機能について

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから10秒か3秒後に撮影します。撮影者自身が被写体となるセルフ･ポートレート撮影の場合は、シャッターボタンを押してからカメラの前に移動する時間が必要なため、10秒の設定が便利です。また、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止する場合には、セルフタイマーを3秒に設定すると便利です。特に、光の少ない場所で撮影する場合や、スピードライトを使用せずにマクロセルフモードで撮影する場合は、3秒で使用すると最適です。

セルフタイマーの使用方法

1 カメラを固定します

- 三脚などを使用し、カメラを安定させてください。

2 セルフタイマーモードを選択します

- ボタンを押してセルフタイマーモードに設定します。
- ボタンを押して液晶モニタに を表示させると、セルフタイマーモードとなり、レンズ先端から30cm以上離れている被写体にピントを合わせます。

フォーカスモードボタンを押します

液晶モニタにセルフタイマー表示が表示されます

- ボタンを押して液晶モニタに を表示させると、マクロセルフモードとなり、レンズ先端から4cm以上離れている被写体にピントを合わせます。

3 構図を決めます

4 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます

シャッターボタンを下まで押し込みます

- シャッターボタンを深く押し込むと、セルフタイマーが作動し始めます。
- セルフタイマーは、シャッターボタンを1回押すと10秒に、2回押すと3秒に設定されます。
- 作動中のセルフタイマーを停止するには、10秒タイマー時はシャッターボタンを2回、3秒タイマー時はシャッターボタンを1回押してください。
- シャッターボタンを押すと同時に、セルフタイマーランプが点滅し始めます。シャッターがきれる1秒前まで点滅が続き、最後の約1秒間は点灯します。

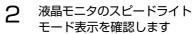
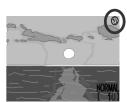
シャッターがきれる1秒前まで点滅が続き、最後の約1秒間は点灯します。

撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます

スピードライトモードについて

撮影目的や撮影意図に合わせて5種類のスピードライトモードを選択できます。

1 ボタンを押します

2 液晶モニタのスピードライトモード表示を確認します

スピードライトモード表示が黄色に表示さてれいるときのご注意

スローシンクロモード、または発光禁止モードに設定して暗い場所で撮影すると、スピードライトモード表示が黄色に表示される場合があります。このような場合には、シャッタースピードが遅くなり手ブレを起こしやすくなりますので、三脚などを使用してカメラを安定させて撮影してください。また、特に夜景など暗い場所で撮影を行った場合、撮影画面にノイズがでることがあります。

以下の場合は自動的に発光禁止モードになります。

- オートフォーカスモードが「遠景」に設定されている場合（P.83）
- モードダイヤルで「風景」、「夕やけ」、「動画」が設定されている場合（P.78）
- BSSメニュー項目が「ON」になっている場合（P.100）
- 連写メニュー項目で「連写」または「マルチ連写」にセットされている場合（P.98）

ボタンを押すたびに、スピードライトモードが順次切り換わります。撮影モードによっては選択できないスピードライトモードがあります。詳しくは「撮影モード」(P.77)をご覧ください。

モード設定	機能	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	暗い場所で自然光をとらえたい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。スピードライトモード表示が黄色く表示される場合は手ブレに注意してください。
AUTO 赤目軽減オート	スピードライトが発光する前に赤目軽減ランプが約1秒間照射を行い、その後自動発光します。人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。	ポートレート撮影に使用します(撮影の際、被写体の人物が赤目軽減ランプをしっかりと見ると効果が上がります)。シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	昼間の屋外撮影での逆光の場合などに使用します。
スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして、スピードライトを発光します。	夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに映したい場合に使用します。スピードライトモード表示が黄色く表示される場合は手ブレに注意してください。

赤色 LED が点滅しているときは

スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、ファインダー右側の赤色LEDが点滅します。このような場合は、シャッターボタンからいったん指を離し、しばらくしてからシャッターボタンを押し直してください(P.6)。

スピードライト使用上の注意

スピードライトを使用するときは、指や髪の毛などでスピードライトの前をさえぎらないようにご注意ください。指や髪の毛などでスピードライトがさえぎられていると、画像が暗くなったり、大きな影が写り込んだりする場合があります。

撮影モードのメニュー画面

AUTO 撮影モード画面とシーン撮影モード画面には、撮影の際に使用するメニューが表示されます（動画モード時はメニューは表示されません）。AUTO 撮影モード画面のメニューを使用すると、明るい被写体を撮影するときや、蛍光灯の部屋で撮影するときなど、被写体や撮影状況に応じてカメラの設定を変更することができます。シーンモード時は、各シーンモードに合わせて自動的にカメラの設定が行われます。そのため、シーン撮影モード画面のメニューは、画質モードと画像サイズのみになります。

AUTO撮影モード、またはシーン撮影モードのメニュー画面を表示するには:

1 (AUTOモード)、または 、、、、、、(シーンモード）を選択します。

2 MENUボタンを押すと、現在設定されているモードのメニューが表示されます。

参照ページ

P.15　メニューを見る

AUTO 撮影モード画面

AUTO撮影モード画面には以下のメニューがすべて表示されます。

シーン撮影モード画面

シーン撮影モード画面には「画質モード」と「画像サイズ」のみが表示されます。

画質モード

AUTO/ シーン

プリント時の画像や、液晶モニタに表示される画像の画質モードを設定します。画質モードの設定は、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数に影響します。

P.92 ～ 93

画像サイズ

AUTO/ シーン

画像サイズ［各画像のドット数（ピクセル数）］を設定します。画像サイズを設定すると、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数と、プリント時の画像の大きさが決定します。

P.94 ～ 95

ホワイトバランス

AUTO のみ

様々な照明光に合わせて、ホワイトバランスがセットできます。

P.96 ～ 97

連写

AUTO のみ

単写や連写、マルチ連写（16 枚撮影）の中から選択できます。

P.98 ～ 99

BSS（ベストショットセレクション）

AUTO のみ

BSS（手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

P.100 ～ 101

露出補正

AUTO のみ

非常に明るい被写体、非常に暗い被写体、コントラストが強い被写体などに対して露出補正がセットできます。

P.102 ～ 130

輪郭強調

AUTO のみ

撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。

P.104 ～ 105

画質モードと画像サイズ

AUTO / シーン

コンパクトフラッシュカードに記録される画像ファイル容量は、画質モードと画像サイズで決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。8MB、16MB、64MB、96MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです(JPEG 圧縮の性質上、撮影枚数は画像の絵柄によって大きく異なります)。

	8 MB カード			16 MB カード		
	FULL	XGA	VGA	FULL	XGA	VGA
FINE	8	19	48	16	39	97
NORMAL	16	37	88	32	76	177
BASIC	31	71	161	63	144	324

	64 MB カード			96 MB カード		
	FULL	XGA	VGA	FULL	XGA	VGA
FINE	66	159	390	99	238	585
NORMAL	131	306	709	196	459	1064
BASIC	256	578	1301	383	867	1951

画質モード

コンパクトフラッシュカードを有効に利用するために、画像を圧縮して記録することができます。COOLPIX775で用いられているJPEG形式は、画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が増えます。ただし、圧縮してファイルを小さくすると、画質が悪くなることがあります。画質への影響は、被写体や、プリントする画像・液晶モニタに表示する画像のサイズによって異なります。

画質モードは次の３種類から選択できます。

設定	内容
FINE	画像を拡大する場合や、細かい模様や吊り橋のワイヤーなど細かくプリンタで表現したい場合に適しています。画像ファイルは約1/4に圧縮されます。
NORMAL	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合に適しています。画像ファイルは約 1/8 に圧縮されます。
BASIC	電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。画像ファイルは約 1/16 に圧縮されます。

 JPEG について

「JPEG」（ジェイペグと読みます）はJPEG圧縮規格を策定した「Joint Photographic Experts Group」の略語です。

画像サイズ

画像サイズ（単位：ピクセル）を決定するメニューです。画像サイズが小さくてもパソコンで表示するには十分な大きさであるため、電子メールで送る場合やホームページ用の画像として適しています。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントしようとすると、粒子があらい画像になります。コンパクトフラッシュカードの容量や撮影の状況に応じて画像サイズを選択してください。

画像サイズは以下の 3 種類から選択できます。

サイズ名	サイズ（ピクセル）	プリント（画面表示）時のサイズ*	使用目的
FULL	1600 ×1200	約 13 × 10 cm（約 56 × 42 cm）	ハガキのサイズからこの使用説明書のサイズ程度までの大きさで画像をプリントする場合に適しています。
XGA	1024 ×768	約 9 × 7 cm（約 36 × 27 cm）	名刺のサイズからカセットテープのサイズでプリントする場合や、17インチモニタの全面に表示する場合に適しています。
VGA	640 ×480	約 5 × 4 cm（約 22 × 17 cm）	電子メールやホームページに利用する場合や、13インチモニタまたはカメラと接続したテレビで画像を再生する場合に適しています。

* 解像度の設定は次の通りです。
プリント：300dpi、画面表示：72dpi

参照ページ

P.64 電子メールやホームページ用の画像を撮影する
P.72 プリント用の画像を撮影する

画質モード表示と画像サイズ表示について

設定した画質モードと画像サイズは、右図のように液晶モニタに表示されます。

* 画像サイズを「FULL」に設定している場合は、液晶モニタに表示されません。

ホワイトバランス

AUTO

ホワイトバランスについて

被写体に反射する照明光の色は、光源の色に左右されます。人間の目は、このような色の変化をとらえて修正することができます。そのため、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく、人間の目に白い被写体は白く見えます。

それに対して、カメラの場合、光源の色が変わると「白」がやや青や赤、または黄色っぽく表現されることがあります。そのため、デジタルカメラは、照明光の色に合わせて調整を行い、人間の目で白く見える色を画像でも白く見えるようにする「ホワイトバランス」機能を装備しています。

ホワイトバランスの設定

「ホワイトバランス」は、AUTO 撮影モード画面のメニューで設定することができます（シーンモード時は、照明光の状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定されます）。ホワイトバランスには以下の種類があります。

設定	内容
A オート	照明の状態に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます。セット方法は次のページを参照してください。
太陽光	太陽光の下で撮影するときに使用します。
電球	白熱電球を灯している室内で撮影するときに使用します。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内で撮影するときに使用します。
曇天	曇り空の下で撮影するときに使用します。
スピードライト	スピードライト撮影をするときに使用します。

プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「ホワイトバランス」メニューから ▟▙（プリセット）を選択すると、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設定	内容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新しいホワイトバランス値を測定するために、紙などの白い被写体を用意して、撮影に使用する照明下に置きます。次に、被写体がプリセットホワイトバランス設定画面の中心の四角形（上図参照）に合うように、構図を決めます。「新規設定」を選択して、マルチセレクターの ▶ を押すと、新しいプリセットホワイトバランス値が測定されます。プリセット中にはシャッターが切れる音とズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

ホワイトバランス表示について

ホワイトバランスをAUTO以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。

AUTO

NORMAL
[10]

連写

AUTO

「連写」メニューは、シャッターボタンを押した時に画像を1枚撮影する「単写」、シャッターボタンを押し続けることにより画像を連続撮影する「連写」、1回シャッターボタンを押すと連続して16枚撮影できる「マルチ連写」から選択できます。

設定	内容
単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに1枚の画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、次のコマは撮影できません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、連続撮影を行います(約1.5コマ/秒: FINE・FULL参考値)。人物撮影で一瞬の表情を捉えようとする場合や、予想できない動きをする被写体を撮影する場合に便利です。連写にセットした場合には、スピードライトは発光しません。また、フォーカスモード、露出、ホワイトバランスは連写の最初の画像で決定されます。
マルチ連写	マルチ連写は、画像サイズをFULLにセットした時のみセット可能です。シャッターボタンを深く押し込むと、1度に連続して16枚の連続撮影を行います。400 × 300ピクセルの16コマのサムネイル画像は、1つの画像ファイル(1600×1200ピクセル)に保存されます。マルチ連写にセットした場合には、スピードライトは発光しません。また、フォーカスモード、露出、ホワイトバランスはマルチ連写の最初の画像で決定されます。

データを記録する場合の注意

コンパクトフラッシュカードに画像を記録している間は、緑色LEDが点滅します。この緑色LEDが点滅中は、カメラからコンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーや専用ACアダプタを抜いたりしないでください。データが失われたり、カメラやカードが損傷する原因となります。コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、カメラの電源をオフにしてください。

連写モード表示

「連写」メニューで「単写」以外に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

一時保存メモリ

このカメラには、撮影中に一時的に画像を記録するための一時保存メモリが装備されています。画像がコンパクトフラッシュカードに記録される時間を待つことなく、連続して撮影することができます。

一時保存メモリに記録できる画像数は画質モードと画像サイズよって異なります。

一時保存メモリが一杯になると、画像データがコンパクトフラッシュカードに記録され、画像の撮影が可能になるまで砂時計アイコン（⌛）が液晶モニタに表示されますが、一時保存メモリが使用できるようになると、すぐに撮影を再開できます。

「連写」に設定している場合は、シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影できます。ただし、撮影のスピードは一時保存メモリが一杯になると遅くなります。

BSS メニュー

BSSは、Best Shot Selection（ベストショットセレクション）のことで、最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像をカメラが選択し、その1コマだけをコンパクトフラッシュカードに記録します。BSSをONにすると、次のような撮影時に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合、またはテレコンバータを使用している場合
- マクロ撮影時（レンズ先端からの距離が30cm以内の被写体を撮影するとき）
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合（例えば、スピードライトが届かないところに被写体があったり、暗い照明の状態で自然な光を撮影する場合など）

BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。

BSSは次のように設定します。

設定	内容
OFF	BSSをセットしません。カメラは通常の動作をします。
ON	シャッターボタンを深く押し続けていると、最高で10枚の画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、より鮮明な画像を1コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します（細部がいちばん鮮明に写っている画像）。フォーカスモード、露出、ホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。スピードライトの発光は自動的に発光禁止になります。

「連写」、「マルチ連写」時のBBSについて

「連写」か「マルチ連写」に設定しているときは、BSSを使用できません。「連写」か「マルチ連写」モードを選ぶと、BSSが自動的にキャンセルされます。

BSS表示について

BSSがONに設定されていると、液晶モニタにBSS表示が表示されます。

露出補正

露出補正とは、カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることをいいます。被写体が非常に明るかったり、非常に暗かったりする場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、撮影目的や条件に合わせて露出補正をセットすると、作画意図に応じて撮影できます。「露出補正」は、－2.0EVから＋2.0EVまでの範囲で、露出値を調整できます。

露出補正はAUTOモードでのみ利用できます。シーンモードでは自動的に露出が調整されます。

露出補正値の選択

構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合などは、＋値側を選択してください。また、構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合などは、－値側を選択してください。カメラは、適正露出になるように、構図全体が明るいときは自動的に露出値を－側に、暗いときは自動的に露出値を＋側にする傾向があります。そのため、極端に明るい被写体は自然と暗くなり、極端に暗い被写体は明るさが増して、「色あせ」効果が起こります。

露出補正をセットする場合は、液晶モニタで被写体を確認しながら調整することをおすすめします。画像が暗すぎるときは露出値を＋側に、明るすぎるときは露出値を－側にセットします。

露出補正値表示

露出補正の設定が０以外の場合、液晶モニタに露出補正値が表示されます。

輪郭強調

AUTO

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。AUTO 撮影モード画面の「輪郭強調」メニューを使用すると、輪郭を強調する度合いを意図的に調整できます。

設定	内容
AUTO	カメラが、撮影した画像から最適な輪郭を自動的に調節します（調整は画像によって異なります）。
標準	撮影したすべての画像を標準的な輪郭に固定します。
強	輪郭の強調を強めにセットします。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
弱	輪郭の強調を弱めにセットします。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭強調しません。

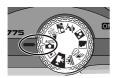
輪郭強調の効果は液晶モニタで確認できません。

輪郭強調表示について

輪郭強調をAUTOとOFF以外に設定すると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。

SET-UP メニュー

ここではSET-UPメニューについて説明します。SET-UPメニューで、基本的なカメラ設定の変更や、コンパクトフラッシュカードのフォーマットなどを行うことができます。

1 (AUTOモード)、または 、、、、、、(シーンモード）を選択します。

2 MENUボタンを押します。現在の撮影モードのメニュー画面が表示されます。

3 マルチセレクターのWボタンを押します。タブ「1」が選択されます。

- タブ「1」が選択されると、赤く表示されます。

4 ▼ボタンを押します。タブ「S」が選択されます。

- タブ「S」が選択されると、赤く表示されます。

5 Tボタンを押します。SET-UPメニューが表示されます。

SET-UP メニューは２ページで構成されています。

SET-UP メニュー（1 ページめ）

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを調整します。

P.109

転送設定

撮影時に、画像をパソコンに転送する設定にするか、転送しない設定にするかを指定します。

P.110

連番モード

画像のファイル名に連続する通し番号を自動的に付けます。

P.111

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードをフォーマットします。

P.112

日時設定

カメラに内蔵された時計の日時を設定します。

P.113

パワーオフ設定

バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を設定します。

P.113

参照ページ

P.15 メニューを見る

SET-UP メニュー（2ページめ）

ビデオモード

ビデオ出力の方式をNTSCかPALに設定します。

P.114

言語

メニューやメッセージを表示する言語を、英語か日本語のいずれかに設定します。

P.115

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを調整します。マルチセレクターの▲または▼を押すと、画面右の矢印が上下に動き、液晶モニタの明るさが増減します。明るさは画面の中心を見て確認します。

- 液晶モニタの明るさは、矢印を合わせた時点でセットされます。

転送設定

撮影時に、画像をパソコンに転送する設定にするか、転送しない設定にするかを指定します。転送設定をONにして撮影すると、撮影されたすべての画像は自動的に転送設定され、転送マーク が表示されます。転送設定をOFFにして撮影すると、設定以降に撮影された画像は転送設定されず、転送マーク は表示されません。

- Nikon View 4を起動しているパソコンにカメラを接続して、TRANSERボタンを押すと、転送設定されている画像は自動的にパソコンに転送されます。

設定	内容
ON	撮影時に、画像や動画に転送マーク をつけ、転送設定します。
OFF	撮影時に画像や動画を転送設定しません。

転送設定についてのご注意

1枚のコンパクトフラッシュカードに転送設定ができる画像は999コマまでです（画像のファイル番号に関わらず、どのファイル番号でも転送設定できます）。

999コマを超える画像を転送する場合はNikon View 4を使用すると、一括または1000コマ以上の画像を選択して転送できます。

カメラで転送する場合は転送済みの画像を転送マーキング設定から、一度、全OFFにして転送されていない残りの画像に転送設定して転送できます（P.134）。

連番モード

撮影した画像が記録されるとき、各画像に「DSCN＋4桁の数字」のファイル名が撮影順に自動的に付きます。連番モードをONにすれば、複数のコンパクトフラッシュカードを使用しても、同名の画像ファイルが複数混在することなく、コンピュータに取り込んで管理するときに便利です。

設定	内容
ON	連番モードをONにセットすると、コンパクトフラッシュカードを交換したり、フォーマットしたりしても画像ファイル名は撮影順に連続した番号がつけられます。このため、同じ名称のファイルが作成されず、画像をコンピュータに取り込んで管理するときに便利です。
OFF	連番モードをOFFにセットします。使用できるいちばん小さい番号からファイル番号がつけられます。
リセット	連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。すでに番号がある場合は、次の番号から連番を付けます。

ファイル名とフォルダ名について

COOLPIX775で記録した画像には、「DSCN0000.JPG」というファイル名が付けられます。0000は4桁の数字で、カメラが自動的に指定します（DSCN0001.JPEGなど）。動画の場合、「JPG」の代わりに「MOV」という拡張子が入ります（DSCN0001.MOVなど）。

また、記録された画像は、「100～999までの3桁の数字＋NIKON」（「100NIKON」など）という名称のフォルダに保存されます。

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードをフォーマットする場合に使用します。

コンパクトフラッシュカードをはじめて使用する場合には、カードのフォーマットが必要です。フォーマットを行うと、コンパクトフラッシュカードに記録されたデータはすべて失われますのでご注意ください。

設定	内容
いいえ	コンパクトフラッシュカードをフォーマットしません。
フォーマットする	コンパクトフラッシュカードをフォーマットします。

カードフォーマットをする際の注意点

「カードフォーマット中」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、カメラのバッテリーを抜いたり、コンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。フォーマットが完了すると画面はSET-UPメニューに戻ります。フォーマットすると、コンパクトフラッシュカードに記録した画像はすべて消去されますのでご注意ください。

日時設定

カメラに内蔵された時計の日付と時刻を設定します。くわしくは、「基本操作—撮影前の準備」をご参照ください（P.42）。

パワーオフ設定

バッテリーを使ってカメラを操作する場合、30秒間（メニューが表示されているときは３分間）カメラの操作を行わないとカメラは低消費電力モードに切り換わります。

- 低消費電力モードに切り換わるまでの時間は、パワーオフ設定メニューで30 S（30秒）、1 M（1分）、5 M（5分）、または30 M（30分）に設定できます。

6Vリチウム電池（2CR5）を使用する場合

6Vリチウム電池（2CR5）をご使用の場合には、カメラの温度が高くなりやすいので、パワーオフ設定は５分以内をおすすめします。

低消費電力モード（オートパワーオフ）

低消費電力モードでは、カメラの機能はすべて停止して、バッテリーの消耗を抑えます。マルチセレクターやMENUボタンを押すか、モードダイヤルを切り換えるか、シャッターボタンを半押しすると低消費電力モードは解除され、緑色LEDが点灯し、液晶モニタが点灯します。

ACアダプタを使用する場合

カメラの電源として、ACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21（別売；P.146）を使用している場合は、低消費電力モードに切り換わる時間は30分間に固定されます。ただし、カメラをテレビやビデオに接続していると、液晶モニタを消灯した後もビデオ出力が行われます。

ビデオモード

ビデオ出力方式を選択します。カメラに接続するビデオ出力方式に合わせて設定してください。

メニュー	内容
NTSC	カメラをNTSC形式のビデオに接続する場合に使用します。 （日本国内のビデオ出力方式）
PAL	カメラをPAL形式のビデオに接続する場合に使用します。 （欧州のビデオ出力方式）

ビデオモードについて

PALにセットした場合は、ビデオケーブル接続中に液晶モニタは表示されません。

参照ページ

P.135　テレビやビデオなどで画像を再生する

言語（LANG）

メニューやメッセージを表示する言語を選択する場合に使用します。

E： 英語表示

J： 日本語表示

画像の再生

モードダイヤルを ▶ に設定したときに実行できる操作について説明します。

基本的な再生 .... P.118～123

マルチセレクターやカメラの背面にあるボタンを使う以下の操作について説明します。

- コンパクトフラッシュカードに記録した画像の再生［1コマ再生モード、サムネイルモード（9コマか4コマ）］
- 動画の再生
- 画像の削除
- 拡大表示モード
- パソコンに転送する画像の転送設定

再生メニュー .... P.124～134

再生メニューで行う以下の操作について説明します。

- 複数画像の削除
- コンパクトフラッシュカードに記録した画像のスライドショー（自動連続再生）
- プロテクト設定
- デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）のプリント指定
- パソコンに転送する画像の転送設定

テレビやビデオなどで画像を再生する P.135

カメラをテレビに接続して、撮影した画像をテレビで再生する方法について説明します。

基本的な再生

モードダイヤルを ▶ に回すと再生モードになり、液晶モニタには最後に撮影された画像が表示されます。ここでは、マルチセレクターやカメラの背面にあるボタンを使用する再生モードの操作について説明します。

1 コマ再生モード

1 コマ再生モードでは、次の操作ができます。

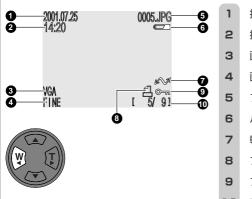
機能	ボタン	内容
他の画像を見ます	▲ ▼	マルチセレクターの▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の 1 つ前に撮影した画像を見ることができます。また、▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
画像情報の表示／非表示を切り換えます（P.120）	W◀	マルチセレクターの W◀ を 1 回押すと、画像情報が非表示になり、2 回押すと画像情報付きの画像が表示されます。
動画を再生します（P.121）	T▶	動画撮影されたファイルは、先頭コマの静止画が表示され、画面上に動画ファイルであることを示すアイコン 🎥 が表示されます。

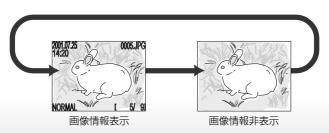
機能	ボタン	内容
画像を削除します	🗑（▲✿〇）	画像再生時に 🗑 を押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの ▶ を押すと選択が実行されます。 • 「はい」を選択すると画像が削除されます。 • 「いいえ」を選択すると再生モードに戻ります。 削 除 / 1 枚削除します よろしいですか？ / いいえ▷ / はい / MENU OFF ◆設定 ▷決定
複数の画像を見ます（P.123）	⊞（⚡◉）	⊞ ボタンを 1 回押すと、9 コマ、2 回押すと 4 コマのサムネイル画像（縮小表示画像）が表示されます。3 回押すと 1 コマ再生モードに戻ります。
画像を拡大表示します（P.122）	Q（QUICK ▶）	Q ボタンを押すと、画像の中心が拡大されて液晶モニタ全体に表示されます。画像の拡大表示中にマルチセレクターを押すと、画像の他の部分も見ることができます。拡大表示をキャンセルするときは Q ボタンをもう1度押してください。（拡大機能は動画再生時には使用できません）
パソコンに転送する画像を選択します	TRANSFER	1 コマ再生モードおよびサムネイルモード時に、転送設定された画像には ∿ マークが表示されます。転送設定されていない画像を転送設定したい場合は、TRANSFERボタンを押してください。画像がすでに転送設定されている場合、TRANSFER ボタンを押すと、転送設定が解除されます。
再生メニューを表示します	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

画像再生について

- 1コマ再生モードでは、コンパクトフラッシュカードから画像を読み込んでいる間に表示される画像の解像度は低くなります（画質が粗くなります）。これは、設定した画質になるまで待たずに画像を表示して、カード内の画像を素早くスクロールできるようにするためです。
- マルチセレクターの▲または▼を押し続けると、表示される画像は変わらずに、液晶モニタの右下に表示されるコマ番号が増減します。表示したいコマ番号が表示されたらマルチセレクターから指を離すと、表示したい画像が表示されます。
- 最初の画像が表示されているときにマルチセレクターの▲を押すと、最後の画像が表示されます。最後の画像が表示されているときにマルチセレクターの▼を押すと、最初の画像が表示されます。

画像情報

1コマ再生モードで表示される画像には画像情報が表示されます。画像情報を非表示にするには、マルチセレクターの W◀ を押してください。マルチセレクターの W◀ を2回押すと、画像情報が再び表示されます。表示される撮影情報は次の通りです。

1	撮影日時
2	撮影時刻
3	画像サイズ表示
4	画質モード表示
5	ファイル名表示
6	バッテリーチェック表示
7	転送マーク
8	プリント表示
9	プロテクト表示
10	表示画像番号／総画像数

- マルチセレクターの W◀ を押すごとに、液晶モニタの状態を次のように変更できます。

動画再生

1コマ再生モードでは、撮影された動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示すアイコン 🎥 が表示されます。動画再生は次のようにマルチセレクターで行います。

ボタン	機能
T ▶	動画再生を開始します。動画再生中に T▶ ボタンを押すと、動画は一時停止します。もう１度押すと再開します。
▲	動画を一時停止している間に▲ボタンを押すと、動画中の１フレーム前の画像をコマ送りで再生します。
▼	動画を一時停止している間に▼ボタンを押すと、動画中の１フレーム後の画像をコマ送りで再生します。

拡大表示モード

Q（QUICK▶）ボタンを押すと、1コマ再生モード時に表示された画像を２倍に拡大表示できます（拡大表示は動画では使用できません）。

操作	機能
	Q ボタンを押すと、画像の中心が拡大されて液晶モニタ全体に表示されます。もう１度押すと、拡大表示が終了します。
	マルチセレクターで拡大表示を画像の別の部分に移動することができます。

サムネイルモード

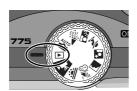
1コマ再生モード時に⊞（⚡◉）ボタンを押すと、最大9コマまでのサムネイル画像（縮小した画像）が表示されます。サムネイルモードでは、サムネイル表示をコマ送りしながら選択したり、削除したり、パソコンに転送設定する画像を選択できます。また、選択した画像を画面全体に表示する1コマ再生することも可能です。

機能	ボタン	内容
画像を選択します	マルチセレクター（▲／▼／W◀／T▶）	マルチセレクターの▲／▼／W◀／T▶を押して画像を選択します。
大きなサイズで画像を表示します	⊞（⚡◉）	サムネイル画像が9コマ表示時に⊞ボタンを1回押すと、4コマのサムネイル画像が表示されます。⊞ボタンをもう1度押すと、選択した画像が画面全体に表示（1コマ再生モード）されます。
選択した画像を削除します	🗑（▲🌷⏱）	🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲、▼を押して「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターのT▶ボタンを押すと、選択が実行されます。 削除 1枚削除します よろしいですか？ いいえ▷ はい MENU OFF　⇕設定　▷決定 •「**はい**」を選択すると画像が削除されます。 •「**いいえ**」を選択すると画像が記録されて撮影モードに戻ります。
パソコンに転送する画像を選択します	TRANSFER	転送設定された画像には〰が表示されています。転送設定されていない画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、転送設定され、〰が表示されます。画像がすでに転送設定されている場合は、TRANSFERボタンを押すと、転送設定が解除され、〰が消えます。

再生メニュー

再生メニューには、画像の削除や、不用意に画像を削除しないようにするプロテクト設定、1 枚ずつ画像を自動再生するスライドショーなどがあります。また、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）対応のプリンターで画像をプリントするためのプリント指定や、撮影した全画像をパソコンに転送するかどうかの選択ができます。

再生メニューの表示方法は次の通りです：

1 ▶ を選択します。

2 MENU ボタンを押すと再生メニューが表示されます。

参照ページ

P.15　メニューを見る

再生メニューには次の項目があります。

再生メニュー

削除

全画像、または選択した画像の削除、およびプリント指定を解除する場合に使用します。

P.126～127

スライドショー

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を順番に自動再生します。また、再生する間隔を設定することができます。

P.128～129

プロテクト設定

不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。

P.130～131

プリント指定

DPOF対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付を設定します。

P.132～133

転送マーキング設定

撮影した全画像をパソコンに転送する設定にするか、または全画像を転送しない設定にするかを選択します。

P.134

削除

画像の削除方法を以下から選択できます。

- 選択した画像の削除
- 全画像の削除
- プリント指定の解除

選択画像の削除

選択した画像を削除します。

「選択画像削除」を選択します。

❷

「削除選択画面」のサムネイル画像が表示されます。

画像を選択します。

❹

マルチセレクターの▲または▼を押して、削除する画像を設定します。
設定した画像には 🗑 が表示されます。手順の3と4を繰り返して、削除する画像を選んでください。画像の選択を取り消すときは、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して、🗑 の表示を消してください。

画像の削除について

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- ⊶ アイコンが表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除できません（P.130）。

5 QUICK▶ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの T▶ を押すと選択が実行されます。

- 「**はい**」を選択すると選択した画像がすべて削除されます。
- 「**いいえ**」を選択すると画像が削除されずに再生メニューに戻ります。

全画像の削除

コンパクトフラッシュカードのすべての画像を削除します。

1

「全画像削除」を選択します。

2

削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの T▶ ボタンを押すと選択が実行されます。

- 「**はい**」を選択するとコンパクトフラッシュカード内のすべての画像が削除されます（プロテクト設定されている画像は削除されません）。
- 「**いいえ**」を選択すると画像が削除されずに再生メニューに戻ります。

「プリント指定」の解除

再生メニューの「プリント指定」（ P.132）で設定したプリント指定を一括で解除します。

「プリント指定」の解除についてのご注意

「プリント指定」の解除を実行すると、プリント指定ともに動画にセットされた転送マークも解除されますので、ご注意ください。

スライドショー

画像を順番に自動再生します。「開始」を選択すると、コンパクトフラッシュカードに記録されているすべての画像が記録した順に一定間隔で再生されます。

スライドショーの開始

「開始」を選択します。

2

マルチセレクターの T▶ を押すとスライドショーが開始されます。

- コンパクトフラッシュカードに記録されている最初の画像から、記録された順番で画像が 1 コマずつ表示されます。最終コマまで表示した後は、最終コマを表示して「一時停止」画面になります。
- 動画は、最初のスタート画面が静止画像として再生されます。

パワーオフ設定

スライドショーの開始後 30 分経過するとオートパワーオフ機能（P.113）が働き、液晶モニタが自動的に消灯します。

スライドショーの再生中の動作は、次の通りです。

機能	ボタン	内容
スライドショーを一時停止します	▣ （⚡◉）	▣ボタンを押すと、スライドショーが一時停止し、右図のような画面が表示されます。スライドショーを再開するには、マルチセレクターで「再開」を選択し、▶ を押すと選択が実行されます。
スライドショーを終了します	MENU	MENUボタンを押すとスライドショーが終了し、再生画面に戻ります。

インターバル設定

- スライドショーでの１コマの画像を表示する時間を変更することができます。はじめにセットされているインターバルは３秒で、その他２秒、５秒、10秒と変更できます。
- インターバルを変更するには、「インターバル設定」を選択して、マルチセレクターの▶ を押すと、右図のようなインターバル設定メニューが表示されます。希望するインターバルを選択し、マルチセレクターの ▶ を押すと設定されます。

インターバル設定

実際のインターバル時間は、画像のファイルサイズやコンパクトフラッシュカードから読み込むスピードによってメニューの値とは異なる場合があります。

プロテクト設定

「プロテクト設定」を選択すると、右図のような画面が表示されます。この画面で、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかける画像を選択します。

マルチセレクターの W◀ または T▶ を押して、画像を選択します。

▲または▼を押して、プロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には 🔑 アイコンが表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して 🔑 アイコンを消してください。

プロテクト設定をした画像は簡易再生モード、1コマ再生モード、サムネイルモードで削除ができなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードをフォーマットするとプロテクト設定された画像を含んだ全ての画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

3 QUICK ▶ボタンを押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、メニューボタンを押してください。

プロテクト設定完了

プリント指定

「プリント指定」を選択すると、右のような「プリント画像選択」画面が表示されます。この画面では、プリントする画像を選択し、プリント枚数を指定します。選択された画像には、プリント時に撮影情報（シャッタースピード、絞り値）や撮影日を印字することができます。

マルチセレクターの W◀ または T▶ を押して、画像を選択します。

❷

▲を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には アイコンが表示されます。

デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）

「プリント指定」画面で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。プリント指定を終了したら、コンパクトフラッシュカードをカメラから取り出して、DPOF対応プリンタ（家庭用プリンタ、またはプリントショップのプリンタなど）に挿入してください。コンパクトフラッシュカードから直接画像をプリントすることができます。

プリント指定の解除

プリント指定の必要がなくなり、解除するときは、「削除」メニュー（P.126）の「プリント指定」を選択してください。

マルチセレクターを使ってプリントする枚数を指定します。

- ▲を押すとプリント枚数は増加し（最高９枚）、▼を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が1のときにマルチセレクターの▼を押してください。
- １～３の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、メニューボタンを押してください。

4

QUICK ▶ボタンを押すと操作が完了し、プリント指定のメニューが表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して プリント時に印字する情報を選択してください。

- 選択したすべての画像の画像情報をプリントするときは、「撮影情報」を選択して T ボタンを押します。項目の前のボックスにチェックが入ります。
- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して T ボタンを押します。項目の前のボックスのチェックが入ります。
- 選択した項目のチェックは外すときは、その項目を選んで T ボタンを押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、「設定終了」を選んで T ボタンを押します。
- プリント指定を終了し、再生画面に戻る場合は、メニューボタンを押してください。

他のカメラで設定したプリント指定

COOLPIX775以外の他のデジタルカメラでプリント指定したコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX775に挿入してもプリント指定は認識されません。COOLPIX775で再度プリント指定してください。

コンパクトフラッシュカードには１度に１回分のプリント指定しか記録できません。

転送マーキング設定

「転送マーキング設定」を選択すると、右のような画面が表示されます。撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。

設定	内容
全 ON	撮影した画像全てを転送設定します。
全 OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。

転送マーキング設定についてのご注意

コンパクトフラッシュカードにすでに記録した画像に対して、すべての画像に転送設定をセットしたり、すべての画像の転送設定を解除することができます。ただし、1 枚のコンパクトフラッシュカードに転送設定できる画像は 999 コマまでです（画像のファイル番号にかかわらず、どのファイル番号でも転送設定できます）。

999 コマを超える画像を転送する場合は Nikon View 4 を使用すると、一括または 1000 コマ以上の画像を選択して転送できます。

カメラで転送する場合は転送済みの画像を転送マーキング設定から、一度、全OFFにして転送されていない残りの画像に転送設定して転送できます。

COOLPIX775 以外のニコン製デジタルカメラで設定した転送設定

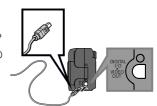
COOLPIX775以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX775に挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX775で再度転送設定してください。

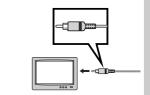
テレビやビデオなどで画像を再生する

カメラに付属するビデオケーブルEG-775を使用して、COOLPIX775をテレビやビデオに接続できます。テレビには、液晶モニタに表示された画像がそのまま表示されます。

1 **カメラの電源を OFF にセットします。**

2 **ビデオケーブルをカメラに接続します。**

ビデオケーブルの黒い方のプラグを、カメラのビデオ出力端子に接続します。

3 **ビデオケーブルをテレビ（ビデオ）に接続します。**

黄色い方のプラグをテレビ（ビデオ）に接続します。

4 **テレビの入力切り換えをします。**

5 **カメラの電源を ON にセットします。**

テレビには、液晶モニタの画像がそのまま表示されます。

AC アダプタを使用する場合

カメラをACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21（別売）に接続して使用すると、液晶モニタのオートパワーオフは30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが接続されている場合には、ビデオ信号は継続して出力されます。

- カメラの液晶モニタをオフにすると､テレビにはカメラの設定情報や撮影情報が表示されませんのでご注意ください。

ビデオモードについて（P.114）

SET-UPメニューのビデオモードでは、ビデオ出力形式をNTSC（日本国内)、またはPAL（欧州）から選択します。カメラを接続したビデオの形式と選択したビデオ出力形式は必ず一致するようにしてください。

- PAL 形式に設定した場合、カメラの液晶モニタはオフになります。ただし、動画モードにセットしている場合、カメラの液晶モニタはオンになりますが、ビデオ出力は一時停止となります。

接続

Nikon View 4 がインストールされたパソコンに、COOLPIX775 を接続すると、撮影した画像の楽しみ方が拡がります。パソコンに転送した画像を家族や友人にインターネットを利用して送ったり、画像をフロッピーディスクなどにコピーしてプリントショップなどでプリント出力したりできます。また、画像をパソコンのハードディスクに保存して、画像に文字や絵を書き込んだり、カラープリンタでプリントすることもできます。

ここでは、カメラに付属の USB（ユニバーサルシリアルバス）ケーブル UC-E2 を使用してパソコンとカメラを接続し、撮影した画像をパソコンに転送する方法について説明します。

ご使用になるパソコンが USB インターフェースを装備していない場合は、カードリーダー、またはカードスロットを利用することにより、撮影した画像をパソコンで楽しむことができます。

Nikon View 4 リファレンスマニュアル CD-ROM の使い方

パソコンの動作環境に関しては、Nikon View 4 のリファレンスマニュアルをご覧ください。

Nikon View 4 について

USBケーブルUC-E2を使用して、COOLPIX775からパソコンへ画像を転送するには、カメラに付属されたNikon View 4が必要です。パソコンに、他のニコン製デジタルカメラ用のNikon Viewがすでにインストールされている場合は、COOLPIX775に付属のNikon View 4をインストールしてください。

DCF について

COOLPIX775は、DCFに準拠しています。Design rule for Camera File system（DCF）は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための画像フォーマットです。

Nikon View 4のインストール

Nikon View 4をご使用になる前に、インストールマニュアルをお読みください。インストールマニュアルはカメラに付属のNikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROMの中に入っています。

1 Nikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。

パソコンを起動し、CD-ROMドライブにNikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROMを挿入してください。

Windowsの場合：　「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中のNikonアイコンをダブルクリックすると、Nikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROMウィンドウが開きます。

Macintoshの場合：　デスクトップ上にNikon View 4リファレンスマニュアルCD-ROMウィンドウが自動的に開きます。

Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professionalをご使用になる場合のご注意

Nikon View 4をご使用になる場合（インストール/アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professionalの場合）でログオンしてください。

Nikon View 4をインストールする前に

Nikon View 4をインストールする前に、付属の画像データベースソフトをインストールしてください。

2 Adobe Acrobat Reader をインストールします。

Nikon View 4のインストールマニュアルはPDF形式で書かれています。マニュアルを読むには、Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。すでにシステムにAdobe Acrobat Readerがインストールされている場合は、ステップ3にお進みください。

Adobe Acrobat Readerをインストールするには、まずJapaneseのフォルダをダブルクリックして、次にインストーラーアイコンをダブルクリックします。インストール開始画面が表示されますので、画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。

インストーラーアイコン（Windows）　インストーラーアイコン（Macintosh）

Adobe Acrobat Reader インストール開始画面（Windows）

Adobe Acrobat Reader インストール開始画面（Macintosh）

3 Nikon View 4 インストールマニュアルの指示にそって、Nikon View 4 をインストールします。

Nikon ウインドウ内の INDEX.pdf アイコンをダブルクリックして、Nikon View 4 のリファレンスマニュアルの見出し（INDEX）を表示させてください。ご使用のシステムに応じたインストールマニュアルを参照してください。インストールマニュアルは Acrobat Reader の［ファイル］メニューにある［プリント...］コマンドでインストールマニュアルをプリントできます。

INDEX.pdf アイコン

Nikon View 4 インストール時の注意点

Nikon View 4 をインストールする前に、Adobe Acrobat Reader やウィルスチェック用ソフトウェアなど、起動しているプログラムはすべて終了してください。

パソコンに接続

Nikon View 4のインストールが完了したら、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続して画像や動画をパソコンに転送できます。また、カメラからコンパクトフラッシュカードを取り出して、カードリーダー、またはPCカードスロットに挿入して転送することもできます。

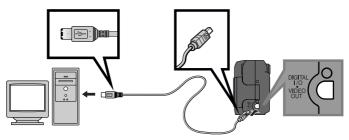
USBケーブルUC-E2で画像を転送する

パソコンがUSBインターフェースを装備している場合、カメラに付属するUSBケーブルUC-E2を使ってカメラとパソコンを接続することができます。パソコンがUSBインターフェースを装備していない場合は、カードリーダーやPCカードスロットを使って画像を転送します（P.142）。

1 パソコンに転送したい画像を確認します

- カメラにコンパクトフラッシュカードを挿入し、モードダイヤルを▶にしてから、カメラの電源スイッチをONにします。
- 画像を確認したら、カメラの電源スイッチをOFFにします。

2 カメラとパソコンを接続します

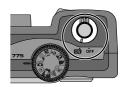
- カメラとパソコンを専用USBケーブルで下図のように接続します。

カメラとパソコンの接続について

USBインターフェースは、パソコンと周辺機器（プリンタやカメラなど）を接続する規格のひとつで、パソコンや周辺機器の電源をOFFにすることなく、接続したり接続を外したりすることができます。

従って、パソコンとCOOLPIX775をUSBケーブルUC-E2でカメラの電源スイッチをONにしたまま、接続することも、また接続を外すこともできます。

ただし、USBケーブルの接続を外す場合は、「カメラを取り外す場合のご注意」（P.141）に従って接続を外してください。

3 カメラの電源を ON にします。

- カメラの電源スイッチを「ON」にすると、レンズが繰り出し、カメラの液晶モニタには何も表示されません。
- また、電源スイッチと TRANSFER ボタンを除くすべてのボタンが使用できなくなります。
- カメラの電源スイッチを「ON」にすると、パソコンのモニタ画面では、Nikon View 4が自動的にカメラを認識して、［画像の転送］ウィンドウを表示します。画像をパソコンに転送する方法については、「電子メールやホームページ用画像を転送する(P.68)」をご参照ください。

Windows XP Home Edition/Professional をご使用の方へ

USB接続したカメラの電源スイッチを**ON（オン）**にすると、［リムーバブルディスク］（自動再生）ウィンドウが表示されます。[Nikon View 4使用] を選択し、[OK] をクリックすると、Nikon View 4が起動します。このとき、[常に選択した動作を行う] のチェックボックスにマークすると、次にカメラを接続（電源スイッチをオン）したときに、自動的に Nikon View 4 が起動します *。

* 最初にカメラを接続して設定したポートと別のUSBポートにカメラを接続すると、再度、［リムーバブルディスク］（自動再生）ウィンドウが表示される場合があります。もう一度、同じ設定をするか、最初にカメラを接続したポートに接続しなおしてください。

Windows 98 ／ 98SE をご使用の場合

Windows 98 ／ 98SE をご使用の場合は、COOLPIX775 をデバイス登録（カメラをパソコンに認識させる）する必要があります。詳しくは Nikon View 4 リファレンスマニュアルをご覧ください。

画像転送中のご注意

カメラの液晶モニタに「画像を PC に転送中です」と表示されている間は、次の操作は行なわないでください。

カメラおよびパソコンが作動しなくなる場合があります。

- コンパクトフラッシュカードを抜く
- カメラの電源をオフにする
- USB ケーブルを抜く

カメラを取り外す場合の注意点

カメラを取り外すときには、カメラの電源を「OFF」にしたり、USBケーブルを抜く前に、次の操作を行ってください。※「ドライブ（E:)」の E はご使用のパソコンによって異なります。

- **Windows XP Home Edition/Professional の場合：**パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します。」を選択してください。

- **Windows 2000 Professionalの場合：**パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します」を選択してください。

- **Windows Millennium Edition（Me）の場合：**パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USB ディスクードライブ（E:）の停止」を選択してください。

- **Windows 98/Windows 98 Second Edition (SE)の場合：**マイコンピュータの中の「リムーバブル ディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

- **Macintoshの場合：**デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

「転送エラー」、「転送がキャンセルされました」、「通信エラー」が発生した場合でも「転送が終了しました」と表示されますが、このような場合も、カメラの電源を「OFF」にしたり、USB ケーブルを抜く前に、上の操作を行ってください。

使用する電源について

カメラからパソコンにデータを転送するときは、確実に電源を供給できる AC アダプタ EH-21（別売） のご使用をおすすめします（P.146）。カメラをバッテリーで操作するときは、バッテリーが十分に充電されていることをご確認ください。予備バッテリーのご用意をおすすめします。バッテリー残量が少なくなったら、カメラの液晶モニタに「画像をパソコンに転送中です」と表示されていないことを確認してから、上記「カメラを取り外す場合の注意点」に従ってカメラの電源を「OFF」にした後、バッテリーを交換してください。

カードリーダー、または PC カードスロットから画像を転送する

ご使用になるパソコンにUSBインターフェースが装備されていない場合でも、コンパクトフラッシュカードリーダーをお持ちの場合、またはパソコンにPCカードスロットが装備されている場合には、コンパクトフラッシュカードをカメラから取り出してパソコンに画像を読み込むことができます。

コンパクトフラッシュカードリーダーをご使用の場合

カードリーダーにコンパクトフラッシュカードを挿入する場合は、あらかじめカメラからカードを取り出しておいてください（P.37）。装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体、カードリーダーの使用説明書をご参照ください。

1 パソコンを起動します。

カードリーダーが外付けタイプの場合は、パソコンを起動する前にカードリーダーを接続しておいてください。

2 カードリーダーにコンパクトフラッシュカードを挿入します。

Nikon View 4 が自動的にカードを認識して「画像の転送」ウィンドウを表示します。画像をパソコンに転送する方法については、「電子メールやホームページ用画像を転送する（P.68）」をご参照ください。

Windows XP Home Edition/Professional をご使用の方へ

USB 接続したカメラの電源スイッチをON（オン）にすると、[リムーバブルディスク]（自動再生）ウィンドウが表示されます。[Nikon View 4 使用] を選択し、[OK] をクリックすると、Nikon View 4 が起動します。このとき、[常に選択した動作を行う] のチェックボックスにマークすると、次にカメラを接続（電源スイッチをオン）したときに、自動的に、Nikon View 4 が起動します。

コンパクトフラッシュカードリーダーについて

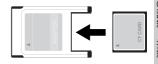
コンパクトフラッシュ（CF）カードリーダーは、カメラが使用するコンパクトフラッシュカードをパソコンで読み込むための装置です。CF カードリーダーには、USB カードリーダーからパソコンに内蔵されているタイプのものまでさまざまなタイプがあります。

カードリーダーからコンパクトフラッシュカードを取り出す場合

カードリーダーからコンパクトフラッシュカードを取り出す前に、画像転送が完了していることをご確認ください。パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている間は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

PC カードスロットをご使用の場合

PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入する場合は、あらかじめカメラからカードを取り出しておいてください（P.37）。

1 コンパクトフラッシュカードを PC カードアダプタ EC-AD1（別売）に挿入します

右の図のようにコンパクトフラッシュカードをPC カードアダプタに挿入します。

2 パソコンを起動します

3 PC カードスロットに PC カードアダプタを挿入します

Nikon View 4 が自動的にカードを認識して画像転送ウィンドウを表示します。画像をパソコンに転送する方法については、「電子メールやホームページ用画像を転送する（P.68）」をご参照ください。

Windows XP Home Edition/Professional をご使用の方へ

USB 接続したカメラの電源スイッチをON（オン）にすると、[リムーバブルディスク]（自動再生）ウィンドウが表示されます。[Nikon View 4 使用] を選択し、[OK] をクリックすると、Nikon View 4 が起動します。このとき、[常に選択した動作を行う] のチェックボックスにマークすると、次にカメラを接続（電源スイッチをオン）したときに、自動的に、Nikon View 4 が起動します。

PC カードスロットについて

ノート型パソコンなどの「PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）」に適合するPCカードスロットを使用する場合、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを読み込むために、PC カードアダプタ EC-AD1（別売）が必要です。

PC カードスロットから PC カードアダプタを取り出す場合

PCカードスロットからPCカードアダプタを取り出す前に、画像転送が完了していることをご確認ください。パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている間は、PC カードアダプタを取り出さないでください。

資料編

カメラのお手入れ方法、別売アクセサリー、警告表示が表示された場合やカメラがうまく作動しない場合の対処方法、およびカメラの仕様などについて説明します。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ／ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないように、ご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズやファインダーのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。
液晶モニタ	ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは柔らかな乾いた布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水をしめらせた柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラの電源の電源スイッチが「OFF」になっていること、レンズカバーが閉じていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または−10℃以下の場所
- 湿度が 60% を越える部屋

別売アクセサリー

COOLPIX775には次の別売アクセサリーを使用できます。くわしくは販売店にお問い合わせください。

ACアダプタ／バッテリーチャージャー	ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21
ソフトケース	ソフトケース CS-E775
コンパクトフラッシュカードアダプタ	PCカードアダプタ EC-AD1
コンバータアダプタ	コンバータアダプタ UR-E3（WC-E63、TC-E2装着時に必要）
コンバータレンズ	COOLPIX775では、次の2つのコンバータレンズがご使用になれます。 • ワイドコンバータ WC-E63 • テレコンバータ TC-E2

使用できるコンパクトフラッシュカード

次の他社製コンパクトフラッシュカードは動作確認されておりますので、COOLPIX775で使用できます。

- SanDisk 社製
  SDCFB シリーズ 16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、96 MB、128 MB

その他のメーカーのコンパクトフラッシュカードについては動作の保証はいたしかねます。上記コンパクトフラッシュカードの詳細については、各社にご相談ください。

インターネットご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記のアドレスのホームページ上でご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

コンバータレンズのご使用上の注意

COOLPIX775には、ワイドコンバータWC-E63、およびテレコンバータTC-E2の２種類のコンバータレンズが使用できます（コンバータレンズをカメラに取り付けるには、コンバータアダプタUR-E3が必要です）。

コンバータレンズを使用する場合には、次の操作を行ってください。

● コンバータアダプタUR-E3の取り付け、取り外しには、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

● 撮影時には、必ず液晶モニタで確認してください。

■ ワイドコンバータWC-E63を使用する場合：
- スピードライトモードを発光禁止にする。
- ズームを一番ワイド（広角）側にする。

■ テレコンバータTC-E2を使用する場合：
- スピードライトモードを発光禁止にする。
- ズームを一番テレ（望遠）側にする。

コンバータレンズの詳細については、各コンバータレンズの使用説明書をご参照ください。

故障かな？と思ったら

カメラがうまく作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門へお問い合わせする前に、次の表をご確認ください。

症状	原因	👁
液晶モニタに何も映らない	• 液晶モニタがオフになっています。マルチセレクターの▲ボタンを押して、モニタをオンに切り換えてください。	P.51
	• カメラが低消費電力モードになっています。シャッターボタンを半押ししてください。	P.113
	• カメラの電源が入っていません。	P.8
	• バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。	P.33
	• バッテリーの残量がありません。	P.40
	• AC アダプタ EH-21（別売）が正しく接続されていません。	—
液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 設定内容の情報を非表示にセットしている可能性があります。撮影モードのときは、設定内容の情報が表示されるまでマルチセレクターの▲ボタンを押してください。再生モードの場合、画像情報が表示されるまでマルチセレクターのW◀ボタンを押してください。	P.51 P.118
	• スライドショーが行われています。	P.128
液晶モニタの画面がよく見えない	• 液晶モニタの明るさを調整してください。	P.109
	• 液晶モニタが汚れています。	—
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。	P.118
	• バッテリーの残量がありません。	P.40
	• 撮影可能枚数が 0 になっています。コンパクトフラッシュカードに十分な容量がありません。	P.38
	• 緑色LEDが点滅しています：ピントを合わせることができません。	P.6
	• 赤色 LED が点滅しています：スピードライトの準備中です。	P.6
	• 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX775用に初期化されていません。	P.38
	• 液晶モニタに「カードが入っていません」というメッセージが現れます：コンパクトフラッシュカードがカメラに挿入されていません。	P.36

症状	原因	👁
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます。	P.102
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの範囲外にあります。 • 露出補正値が低すぎます。	P.89 P.89 P.89 P.102
ピントが合わない	• シャッターボタンを半押ししたときに被写体が液晶モニタやファインダーの中央にありません。 • 緑色LEDが高速で点滅している場合：カメラはピントを合わせることができません。	P.50 P.6
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。 • シャッタースピードが遅すぎます。シャッタースピードを上げるには： 　• スピードライトを使ってください。 　• カメラを広角側にズーミングしてください。 • カメラを広角側にズーミングしても画像がブレたり、スピードライトを使用できない、または使用したくないときは： 　• ベストショットセレクション（BSS）を使ってください。 　• セルフタイマーを使ってください。 　• 三脚を使用して、カメラを安定させてください。	P.50 P.88 P.80 P.100 P.86 —
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： 　• カメラが（風景）、（夕やけ）、（動画）モードの場合 　• フォーカスモードが に設定されている場合 　• AUTO モードで「連写」、または「マルチ連写」を選択している場合 　• ベストショットセレクション（BSS）が ON の場合 • バッテリー残量が少なくなっています。	 P.78 P.83 P.98 P.100 P.40
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました。	—

症状	原因	参照
テレビに液晶モニタの画面が映らない	• ビデオケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていません。 • ビデオモードの設定が間違っています。	P.135 P.135 P.114
カメラをパソコンに接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、Nikon View 4が自動的に起動しない	• カメラの電源スイッチがOFFになっています。 • ACアダプターEH-21（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • インターフェースケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプター、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 Nikon View 4についてはNikon View 4リファレンスマニュアルをご参照ください。	P.8 P.135 P.135 —

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージ、およびその他の警告が表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

表示	原因	対処法	参照
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	P.42
（点滅）	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源スイッチをOFFにしてバッテリーを交換してください。	P.33
モードダイヤル位置がずれています	モードダイヤルが、2つのモードの間に設定されています。	モードダイヤルを正しい位置にセットしてください。	P.9
カードが入っていません	カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できません。	カメラの電源スイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることを確認してください。	P.36
このカードは使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。	P.146
カード不良があります	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。	P.146
フォーマットされていません フォーマットする いいえ ◆選択 ▶設定	コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX775仕様にフォーマットされていません。	マルチセレクターの▲ボタンを押して、「フォーマットする」を選択し、T▶ボタンを押してカードをフォーマットするか、カメラの電源スイッチをOFFにして、適切なカードに交換してください。	P.38

表示	原因	対処法	👁
メモリ残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいカードを挿入してください。	P.92 P.126 P.36
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、TRANSFERボタンを押した場合のみ）	• 不要な画像を削除し、再度TRANSFERボタンを押してください。	P.126
画像を登録できません	• コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • フォルダ、またはファイル番号のオーバーフローです。	• コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 連番モードをオフに設定するか、リセットを行ってください。	P.38 P.111
撮影画像がありません	コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。	• レビュー再生モード時：シャッターボタンを押して撮影してください。 • モードダイヤルが ▶(再生モード）に設定時：モードダイヤルを他の設定に変更してください。	P.56 P.9
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	• ファイルを削除してください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	P.126 P.38
通信エラーです	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、コンパクトフラッシュカードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックしてNikon View 4を終了してください。カメラの電源をオフにした後、ケーブルを再接続するか、コンパクトフラッシュカードを交換して、もう一度カメラの電源スイッチをONにしてください。	P.141

表示	原因	対処法	👁
システムエラー	• カメラの内部回路にエラーが発生しました。 • レンズ駆動部が押さえつけられているため、ONまたはOFFにできません。	カメラの電源スイッチをOFFにして、ACアダプタを使用している場合はアダプタを外して、バッテリーを取り出します。再度バッテリーを入れて、カメラの電源スイッチをONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	P.141
転送マーキングされた画像がありません	転送設定された画像がないときにTRANSFERボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも1枚以上の画像に転送設定をセットして、再接続してください。	P.110 P.134
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、およびバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。	P.139

主な仕様

項目		仕様
型式		ニコンデジタルカメラ E775
有効画素数		2.0 メガピクセル
撮像素子	画素数	1/2.7 型 総画素数： 2.14 メガピクセル
	画像サイズ	• FULL（1600 × 1200 ピクセル） • XGA （1024 × 768 ピクセル） • VGA （640 × 480 ピクセル）
レンズ		• 3 倍ズームニッコール • f=5.8～17.4mm（35mm判換算38～115mm）、F2.8～F4.9 • 6 群 7 枚
電子ズーム		1.25 倍、1.6 倍、2.0 倍、2.5 倍
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	フォーカス	• 液晶モニタ ON：コンティニュアス AF • 液晶モニタ OFF：シングル AF
	撮影距離	• 30cm ～∞ • マクロモード時：レンズ前 4cm ～∞
ファインダー		実像式光学ファインダー、LED 表示
	倍率	0.35 ～ 0.97 倍
	視野率	約 82%
液晶モニタ		1.5 インチ低温ポリシリコン TFT 液晶、110,000 画素、輝度調節機能付き
	視野率	約 97%
パワーオフ設定		30 秒（初期設定）、1 分、5 分、30 分に設定可能

記録形式	
画像ファイル	Design rule for Camera File Sysyem、DPOF 準拠 圧縮：JPEG-Baseline 準拠 • FINE（約 1/4 ） • NORMAL（約 1/8） • BASIC（約 1/16 ） QuickTime（動画）
媒体	コンパクトフラッシュカード Type I

撮影可能コマ数

8MB (64MB)			
画質＼サイズ	FULL	XGA	VGA
FINE	8 (66)	19 (159)	48 (390)
NORMAL	16 (131)	37 (306)	88 (709)
BASIC	31 (256)	71 (578)	161 (1301)

＊撮影コマ数は絵柄によって大きく異なります。

項目	内容
撮影モード	• フルオートモード AUTO （ホワイトバランス、連写モード、BSS、露出補正、輪郭強調） • シーンモード（パーティ、逆光、ポートレート、夜景、風景、海・雪、夕やけ） • 動画モード（最長 15 秒・QVGA フォーマット、15 fps）
連写モード	• 単写 • 連写 • マルチ連写（16 画面）
測光方式	マルチ測光（256 分割）
露出	
露出制御	露出補正（± 2.0EV、1/3EV ステップ）
露出連動範囲（ISO100 換算）	• EV 2.5 ～ 16.2（W 側） • EV 4,2 ～ 17.8（T 側）
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	1 ～ 1/1000 秒

項目		仕様
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式
	制御段数	2（F2.8 と F7.9［W 側］）
撮像感度		ISO100 相当、ISO200 までオートゲインアップ機能あり
ホワイトバランス		マルチオートホワイトバランス、5 種類のマニュアル設定可能（太陽光、電球、蛍光灯、曇天、スピードライト）、プリセット可能
セルフタイマー		3 秒、10 秒
内蔵スピードライト	調光範囲	0.4 ～ 1.7 m（最望遠側） 0.4 ～ 3.0 m（最広角側） 0.2 ～ 2.4 m（接写モード時）
	調光方式	自動調光制御
	発光モード	自動発光、発光禁止、赤目軽減自動発光、強制発光、およびスローシンクロ
再生	再生モード	1 コマ再生、サムネイル（9 分割、4 分割）、動画、拡大表示（2 倍）、スライドショー
	削除機能	全画像削除、選択画像削除、プリント指定解除
	その他の機能	転送マーキング設定、プロテクト設定、プリント指定
インターフェース		USB インターフェース
ビデオ出力形式		NTSC ／ PAL 選択可能
I/O 端子		• DC 入力 • ビデオ出力、デジタル端子（USB）
電源		• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1（付属）、6V リチウム電池 2CR5（別売） • 外部電源：AC アダプタ EH-21（別売）
連続撮影時間		約 100 分（EN-EL1 使用時） ※ 測定条件は当社条件（液晶モニタ使用、撮影毎にズーム、約 3 割のスピードライト撮影、FULL、NORMAL モード、常温＜20℃＞）によります。

動作環境	
温度	0～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）
外形寸法	約87（W）×66.5（H）×44（D）mm
質量（重さ）	約185g（バッテリー、コンパクトフラッシュカード除く）

- COOLPIX775はエプソンの「PRINT Image Matching」に対応しています。「PRINT Image Matching」はこの機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタとの連携により、撮影時に画像といっしょに記録された付帯情報からデジタルカメラ側で設定した色再現を反映させたきれいなプリントが得られる技術です。
- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

Nikon View 4 動作環境:

Windows

OS/機種：	Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition(Me)、Windows 98/98 Second Edition(SE)プリインストールモデル
CPU：	MMX Pentium以上
RAM（メモリ）：	64MB以上の空きメモリ（128MB以上推奨）
ハードディスク：	Nikon View4動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍以上の起動ディスク容量
解像度：	640×480ドット、16-bitカラー、（800×600ドット以上、フルカラー推奨）
その他：	CD-ROMドライブ、USBインターフェイス（USBポート内蔵機種のみ）

Macintosh

OS：	Mac OS8.6*、9、9.1、9.2
機種：	iMac、Power Macintosh G3（Blue&White）、Power Mac G4以降、iBook、PowerBook G3（USB内蔵モデル）以降
RAM（メモリ）：	32MB以上の空きメモリ（64MB以上推奨）
ハードディスク：	Nikon View4動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍以上の起動ディスク容量
解像度：	640×480ドット、16-bitカラー、（800×600ドット以上、フルカラー推奨）
その他：	CD-ROMドライブ、USBインターフェイス（USBポート内蔵機種のみ）

* Mac OS8.6の場合、USB Mass Storage Support1.3.5をインストールしてください。

索引

英数

ア

カ

サ

ヤ

ラ

ユーザーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記の当社サポート部門までお問い合わせください。

〒140 - 0015
東京都品川区西大井 1 - 4 - 25（コア・スターレ西大井第一ビル 2F）
株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター
TEL （03）3773 - 0191 受付時間：祝日を除く月～金（9：30～17：00）
FAX （03）3773 - 8569 ＊都合により休む場合があります。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」をコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140 - 8601
東京都品川区西大井 1 - 6 - 3
株式会社ニコン　東京大井サービス
TEL （03）3773 - 2221 受付時間：祝日を除く月～金（9：00～17：45）
＊都合により休む場合があります。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター　行
TEL（03）3773 - 0191　　FAX（03）3773 - 8569

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ年月日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL：
FAX：

ご使用のコンピュータの機種名：
メモリ容量：　　　　ハードディスクの空き容量：
OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：